マイクロハイファイコンポーネントシステム

SH-7CDR

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」をお読みになり、十分にご理解ください。
使いかたの説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときにくり返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

MDLP

B60-4790-10 01 (CH) (J) AP 0007

はじめに

本機の特長

❑ CDプレーヤー + CDレコーダー + MDレコーダー 一体型ステレオシステム

CD-R（追記型）と CD-RW（書き換え型）の録音、再生はもちろん、CD から CD-R/RW へ高音質デジタル録音、MD から CD-R/RW への録音や、CD から CD-R/RW、MD への同時録音もできます。

❑ CD→CD-R/RW 、CD→MD High Speed（倍速）ダビング対応

「CD から CD-R/RW へ」または「CD から MD へ」カンタン、短時間でダビングできる便利な機能です。

❑ MDロングプレイモード対応

ATRAC 3 による長時間録音、再生機能（**LP2**、**LP4**）を搭載。標準の 2 倍(約 160 分 *1）または４倍（約 320 分 *1）のデジタル長時間録音、再生ができます。
*1：80 分ディスクを使用した場合

❑ 省電力設計

電源オフ（スタンバイ）時の消費電力は 0.25 W以下に設計されています。

❑ CDのテキスト情報表示機能（CD-TEXT対応）

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。（表示できる文字数は1000文字までです）

❑ 放送局をオートプリセットする（エリア別FM放送局名自動表示機能）

現在お住まいの都道府県名を設定すると、その地域で受信可能なFM放送局の周波数と放送局名を自動的に記録表示することができます。

❑ サンプリング・レート・コンバーター搭載

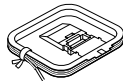
BS/CSチューナーなど、衛星放送のPCMデジタル録音ができる光デジタル入力端子を装備しました。

設置場所について

振動に影響されるような場所には設置しないでください。

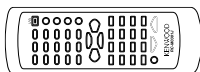
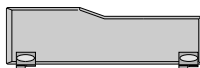
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

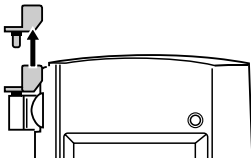
AM ループアンテナ（1個）

FM 室内アンテナ（1本）

リモコン用単三乾電池（2本）

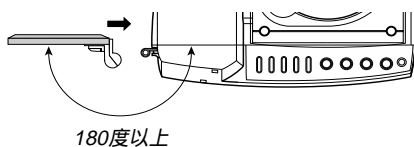
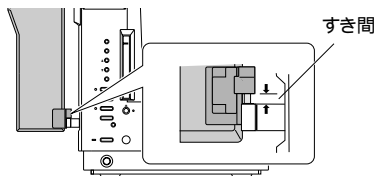
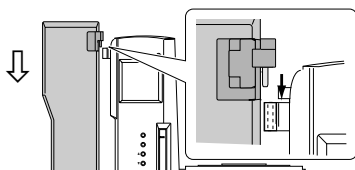
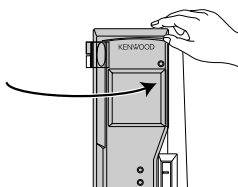
スピーカーコード（2本）

リモートコントロール ユニット（1個）

フロントドア（1枚）

スピーカー用パット（8個）

フロントドアの取り付け

❶ 軸受部にある保護キャップを外す

● 取り外した保護キャップは必ず保管してください。

⚠ 注意
フロントドアを取り付けないで使用するときは、必ず保護キャップを付けて使用してください。保護キャップを取り外した状態で使用すると、フロントドア軸受周辺の金具にふれて、けがの原因となることがあります。

❷ フロントドアを下図のように約180度以上開いた状態で、本体2箇所の軸受に差し込む

● フロントドアの開きかたが十分でないと、本体下部の軸受部にすき間ができます。この場合フロントドアを閉じることができません。

❸ フロントドアを手で閉じる

● フロントドアは手で開閉してください。
● フロントドアを取り外すときは、取り付けるときと同様にフロントドアを約180度以上開いた状態でフロントドアを持ち上げ、本体の軸受から外します。

本体部とスピーカーを並べて使用する場合、本体部フロントドアの開閉に支障がないように、本体部とスピーカー部は間を開けて設置してください。

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

知識編

CDレコーダーについて

CDレコーダーは音楽用CD-R/RW（CD-RまたはCD-RW）に、音楽CDなどのデジタル信号を圧縮することなく、市販されているCD（コンパクトディスク）と同等の高音質の録音をすることができます。

CD-RとCD-RWについて

CD-RとCD-RWには以下の違いがあります。

CD-R（Compact Disc Recordable）（追記型）

追記型のCD-Rは、ディスクの録音可能時間まで追加録音できますが、一度録音された曲は消去することができません。また、ファイナライズ処理（→106）後は本機のCDプレーヤーを含め、他のCDプレーヤー*で再生することができるようになりますが、一切の追加録音はできなくなります。

＊...... 機器によっては再生できない場合があります。

CD-RW（Compact Disc Rewritable）（書き換え型）

書き換え型のCD-RWは、ディスクの録音可能時間まで追加録音できるうえ、一度録音した曲を消去して再録音することができるため、繰り返し録音することができます。また、CD-RWもファイナライズ処理（→106）後は追加録音をすることができなくなりますが、ファイナライズ処理前に戻す（アンファイナライズ処理→107）ことができます。つまり、ファイナライズされたCD-RWでもアンファイナライズ処理をすることで、再び追加録音ができる状態に戻すことができます。しかし、CD-RWはファイナライズ処理をしても、一般のCDプレーヤーでは再生することができません。CD-RW対応の機器で再生することができます。

本機で録音、再生できるCD-R/RWについて

録音できるディスク

本機で録音できるのは、音楽用CD-R/RWのディスクです。音楽用CD-R/RWには、以下のマークが表示されています。パソコン用CD-R/RWには録音できません。

音楽用CD-R　**音楽用CD-RW**

COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable　COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

"DIGITAL AUDIO" の文字がある

パソコン用CD-R　**パソコン用CD-RW**

音楽用CD-R/RWでも、ディスクの特性により録音できないディスクもあります。本機では以下のメーカーの音楽用CD-R/RWディスクにおいて動作確認をしています**（2000年10月現在）**。

CD-R
- ○TDK株式会社
- ○ソニー株式会社
- ○太陽誘電株式会社
- ○日立マクセル株式会社
- ○三井化学株式会社

CD-RW
- ○TDK株式会社
- ○株式会社リコー

録音、再生できない信号

本機での録音、再生はオーディオ信号以外の信号は録音、再生できません。

CD-ROMなどのオーディオ信号以外のデータは録音、再生できません。CDグラフィックやCD-TEXTなど様々な情報が記録されているディスクの場合、オーディオ信号以外のデータは録音、再生できません。
また、**ドルビーデジタル（AC-3）**や**MPEG**などの圧縮されたデジタルオーディオ信号は録音、再生できません。

他のレコーダーで録音したディスクの録音、再生

本機以外のCDレコーダー（パソコン用CD-R/RWドライブも含む）で録音したCD-R/RWは、ディスクの特性や、レコーダー側の記録特性（ピックアップ等）の違いにより本機で追加録音、再生ができないことがあります。

ファイナライズ(FINALIZE)について

ファイナライズとは、CD-R/RWを本機のCDプレーヤー*1、および他のCD-R/RW対応機器で再生できるようにするための最終処理のことです。

ファイナライズ処理後

CD-R .... 本機のCDプレーヤー、および他のCDプレーヤー*2で再生できるようになります。通常のCDと同じような状態になりますので、追加録音などが一切できなくなります。

CD-RW .... 本機のCDプレーヤー、および他のCD-RW対応機器*3で再生できるようになります。基本的にCD-Rと同様、追加録音、消去などができなくなりますが、アンファイナライズ処理(→107)をすることでファイナライズ処理をする前に戻すことができます。

	ファイナライズ処理前		ファイナライズ処理後	
	CD-R	CD-RW	CD-R	CD-RW
本機のCDプレーヤーで聴く	×不可能	×不可能	○可能	○可能
ディスクをセットしたときの表示部	NoDisc	NoDisc		
本機のCDレコーダーで聴く	○可能	○可能	○可能	○可能
ディスクをセットしたときの表示部	CD-R	CD-RW	CD	FINALIZED CD-RW
追加録音(録音可能時間まで)	○可能	○可能	×不可能	×*4不可能
スキップ情報登録 →57	○可能	○可能	×不可能	×*4不可能
消去 →108 →109	×不可能	○可能	×不可能	×*4不可能

*1 .... 本機のCDプレーヤーはCD-R/RWの再生に対応しています。

*2 .... CD-Rは音楽CDに比べて、ディスクの反射率が低く、一部のCDプレーヤーでは再生できない場合があります。ディスク特性、汚れ、キズまたはプレーヤーのピックアップの汚れ、結露等により再生できない場合があります。また、ピックアップの波長の違い等により、一部のDVDプレーヤーで再生できない場合があります。

*3 .... 機器によっては再生できない場合があります。

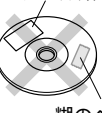
*4 .... アンファイナライズ処理後可能になります。

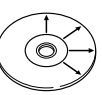
ディスクに録音できる最多曲数ついて

CD-R/RWには最多で99曲まで録音することができます。残り時間があっても99曲を越えて録音することはできません。また、1曲あたりの最短録音時間は**4**秒間です。

ディスクの取り扱いかた

CD、CD-R/RWディスク

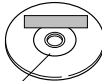
本機で使用できるディスクについて

CD (12cm、8cm)、CDVと CD - G (CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。
ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものなど IEC規格に合格したものをご使用ください。CD-R/RWについては **"CDレコーダーについて"** → 6 を参照してください。

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

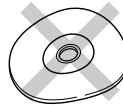
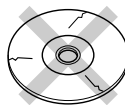
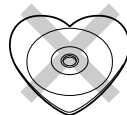
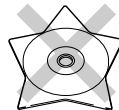
ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

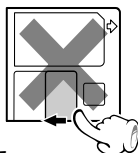
ラベルなどを貼りつけたディスクはご使用にならないでください。故障の原因となります。

変形CD（星形、ハート形等）、ひび割れがある、大きくそったディスク、ディスク保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。

ミニディスク

ミニディスクの取扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

**シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。
無理に開けるとこわれます。**

置き場所について

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

**セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。
従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。**

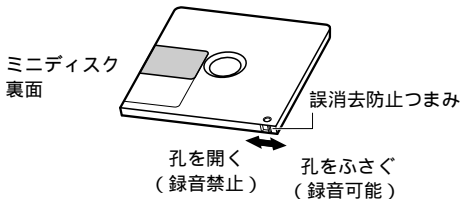
ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。また、ラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

安全上のご注意

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書（安全編）では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⦸記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

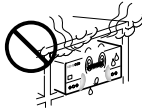
この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

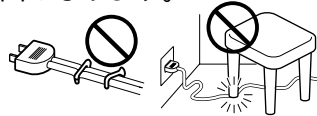
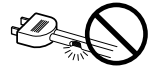
設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

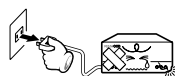
煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

警告

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落下した機器は使わない

機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。

雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

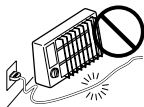
電池は放置しない

電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

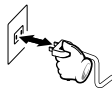
電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

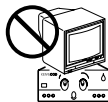
注意

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

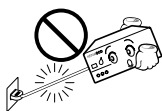
ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービスセンター、サービスステーション、サービススポットに費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

1. システム(本体)と付属品の接続

⚠注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。付属品は、図のように接続してください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、"故障かな?と思ったら..."を参照してマイコンをリセットしてください。→119

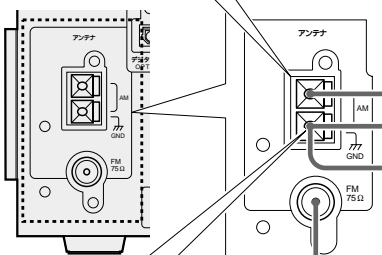
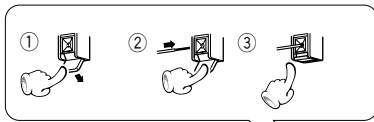
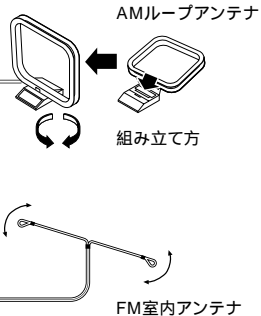
付属アンテナの接続

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

FM室内アンテナ

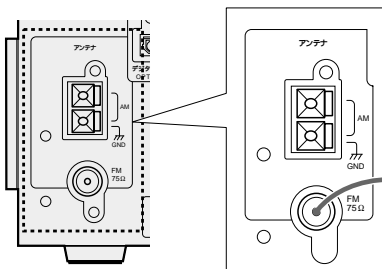
付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ(市販)の接続をお勧めします。

❶ 端子に差し込む。
❷ 受信状態のよい位置をさがす。
❸ 固定する。

受信状態が悪いときは

FM屋外アンテナ(市販品)との接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続するときは、FM室内アンテナは取り外してください。

⚠注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

スピーカーの接続

スピーカーには、左右の指定があります。次のように接続してください。

- スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください。保護回路が働き、音が出なくなります。
- 極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。

1. 全ての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因になります。

付属のスピーカー用パットについて

付属のスピーカー用パット4個を各スピーカー底面の4つのコーナー付近に貼り付けてください。滑り防止とスピーカーの振動を設置面に伝えにくくする効果があります。

右側スピーカー

左側スピーカー

スピーカー部

①

②

③

④

電源コード

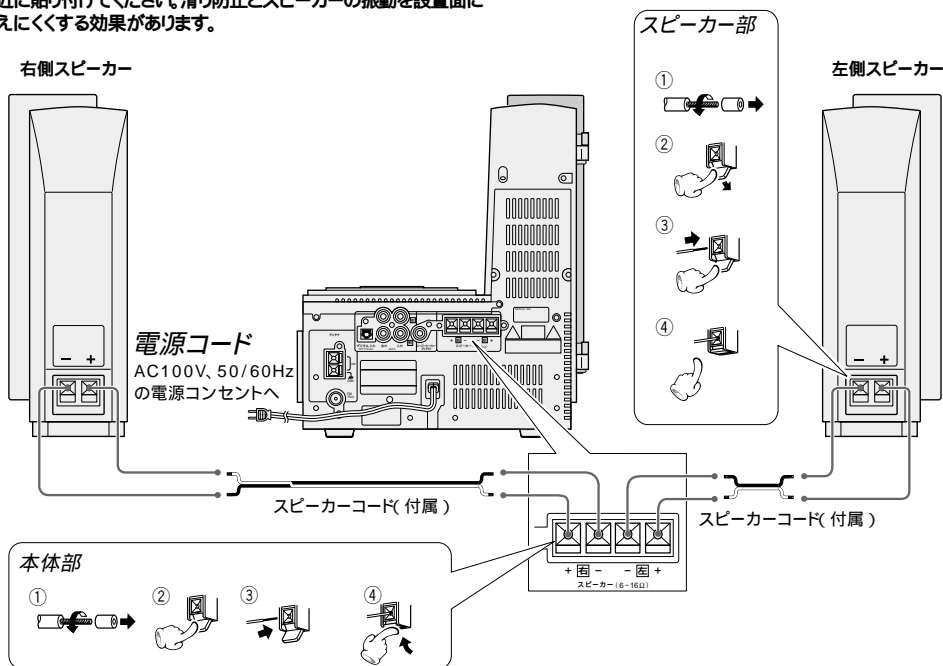
AC100V、50/60Hz
の電源コンセントへ

スピーカーコード（付属）

スピーカーコード（付属）

＋ 右 －　－ 左 ＋
スピーカー（6－16Ω）

本体部

①　②　③　④

スピーカーの設置とテレビについて

1. 本機のスピーカーは、設置のしかたによっては、色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再び電源をオンにしてください。テレビの自己消磁機能により、色ムラが改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、テレビからスピーカーを離して設置してください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置の際はご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、本機の電源がオフ（スタンバイ）のときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

2. 他の機器(市販品)との接続

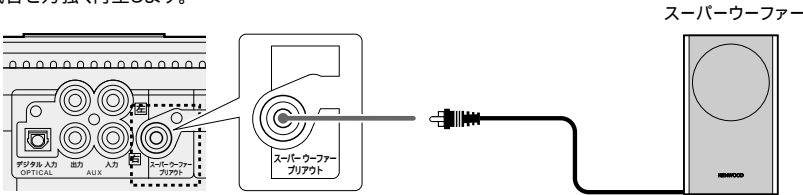
⚠注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続は、図のように行なってください。

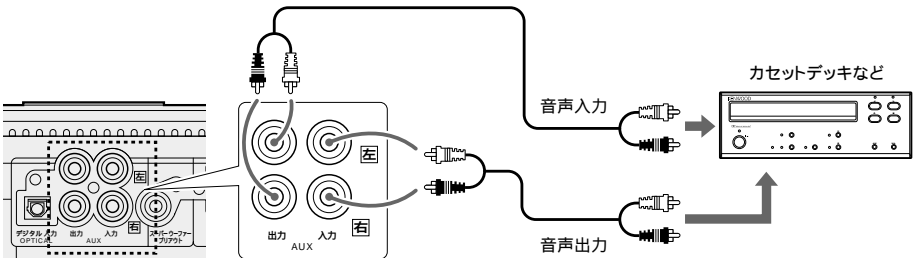
スーパーウーファー(SW-1010)(別売)との接続

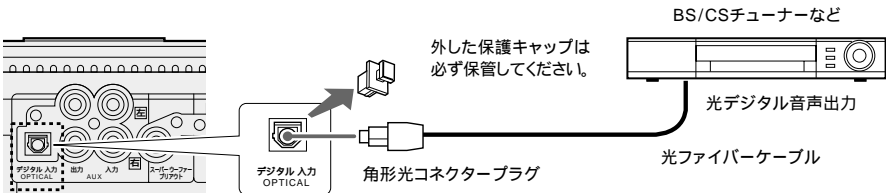
重低音を力強く再生します。

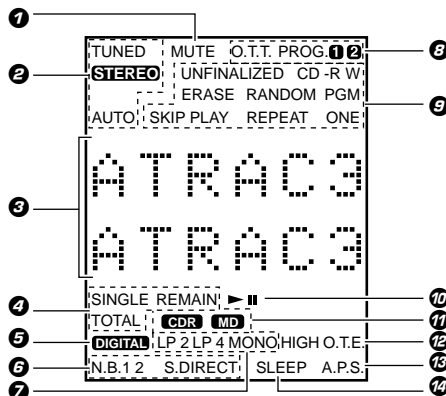
スーパーウーファー

デジタル 入力 OPTICAL 出力 入力 AUX 左 右 スーパーウーファープリアウト

外部ソース(音源)機器との接続

アナログ接続の場合

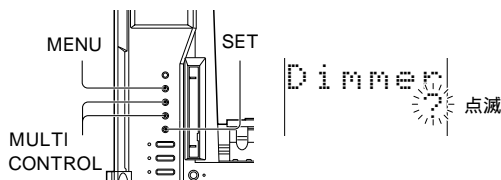
本機背面のAUX(入力/出力)端子を使って、カセットデッキなどを接続することができます。

デジタル接続の場合

本機背面のデジタル入力OPTICAL(オプティカル)端子を使って、BS/CSチューナーなどのデジタル機器を接続することができます。
本機で再生、録音できるデジタル信号については**"サンプリング・レート・コンバーターについて"**をお読みください。→ 39

1. 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
2. 角形光コネクタープラグは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
3. デジタル端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
4. 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。

表示部

❶ MUTE表示
❷ チューナー関連表示
❸ 文字情報表示部
(入力表示、再生時間、タイトル表示など)
❹ CD(プレーヤー、レコーダー)、MDの再生、録音時間関連表示
❺ DIGITAL表示
❻ 音質調整関連表示
(N.B.1、N.B.2、S.DIRECT)
❼ MD REC MODE表示
(LP2、LP4、MONO)
❽ タイマー関連表示
(O.T.T.、PROG.1、PROG.2)
❾ CD(プレーヤー、レコーダー)、MD関連表示
❿ ►(再生)、II(一時停止)表示
⓫ 録音表示(CDR、MD)
⓬ HIGH O.T.E.表示
⓭ A.P.S.(オートパワーセーブ)表示
⓮ SLEEP(スリープ)表示

表示部の明るさの調整について (Dimmer)

本機の表示部の明るさをお好みによって切り換えることができます。

❶ MENUキーを押す
❷ MULTI CONTROLキーを押して"Dimmer ?"を選び、SETキーを押す
❸ MULTI CONTROLキーを押して"Low"または"High"を選び、SETキーを押す

オートパワーセーブ機能について (A.P.S.:Auto Power Save)

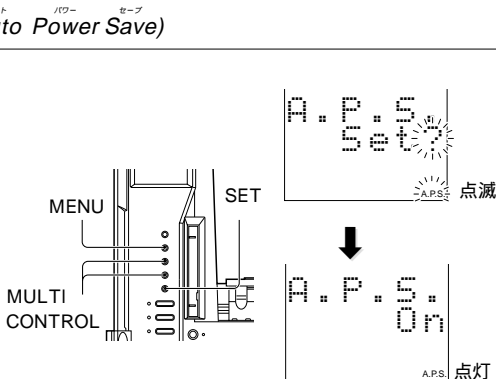
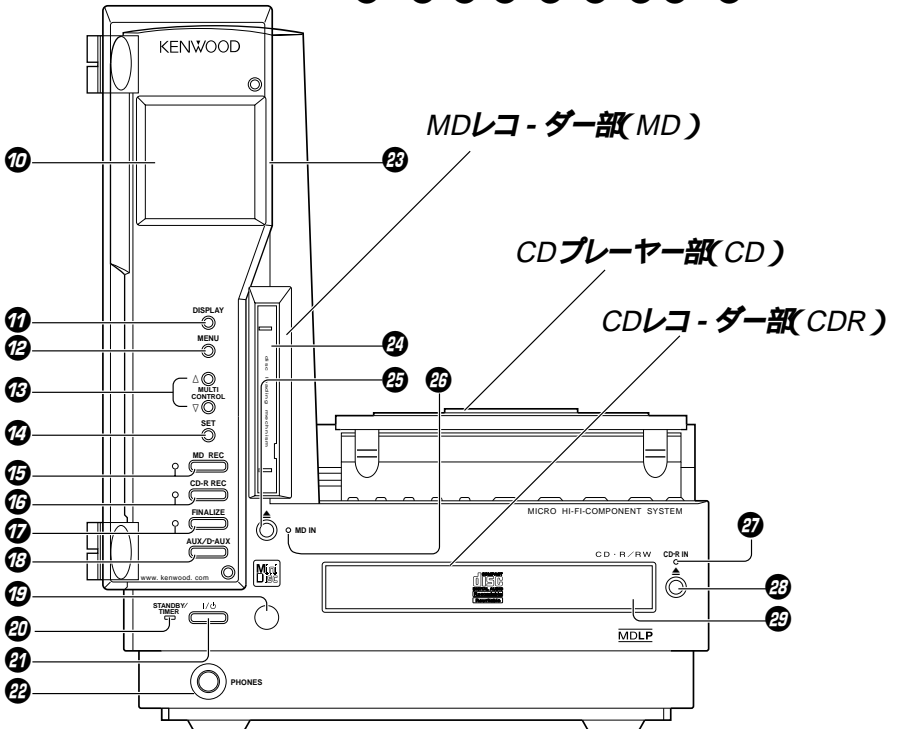
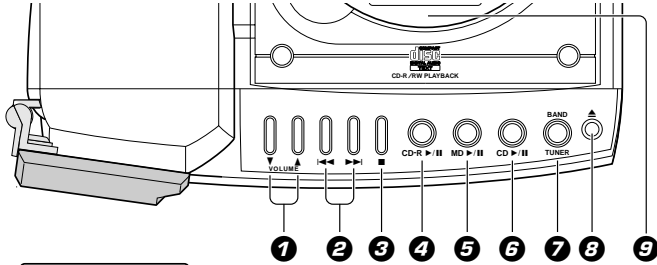
電源がオンで、録音も再生もしていない状態のとき、約30分放置すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になる機能です。次の操作で、使う(On)/使わない(Off)を選びます。

❶ MENUキーを押す
❷ MULTI CONTROLキーを押して"A.P.S. Set ?"を選び、SETキーを押す
❸ MULTI CONTROLキーを押して"On"または"Off"を選び、SETキーを押す

- ソース(音源)が**TUNER**または**D-AUX**、**AUX**の場合、音量が**"0"**のときに限りオートパワーセーブが働きます。
- この機能が働いているときは、表示部に**"A.P.S."**が点灯します。

準備編

準備編

本体部

スタンバイ状態について

本体部のSTANDBY/TIMERインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

❶ VOLUME（▼、▲）キー
音量を調整するときに使います。 →26 →27

❷ |◀◀、▶▶|キー
CD、**CDR**、**MD**で再生中のとき：
再生中の曲のスキップに使います。 →29 →31 →33
放送受信中のとき：
プリセットした放送局の選択に使います。 →34

❸ ■（停止）キー
電源オフ（スタンバイ）のとき：
5秒間の時計表示をします。 →24
CD、**CDR**、**MD**で再生中のとき：再生を停止します。
→29 →31 →33
CDR、**MD**で録音中のとき：録音を停止します。
→42 →46
放送受信中のとき：オート選局動作を止めるときに使います。 →37

❹ CD-R ▶/II（再生/一時停止）キー
電源オンのとき：入力が**CDR**に切り換わります。 →30
電源オフ（スタンバイ）のとき：
システム電源をオンにして、CDレコーダーで再生するときに使います →26
CDR入力のとき：再生/一時停止に使います。 →31

❺ MD ▶/II（再生/一時停止）キー
電源オンのとき：入力が**MD**に切り換わります。 →32
電源オフ（スタンバイ）のとき：
システム電源をオンにして、MDレコーダーで再生するときに使います。 →26
MD入力のとき：再生/一時停止に使います。 →33

❻ CD ▶/II（再生/一時停止）キー
電源オンのとき：入力が**CD**に切り換わります。 →28
電源オフ（スタンバイ）のとき：
システム電源をオンにして、CDプレーヤーで再生するときに使います →26
CD入力のとき：再生/一時停止に使います。 →29

❼ TUNER/BANDキー
電源オンのとき：
入力が**TUNER**に切り換わります。 →34
電源オフ（スタンバイ）のとき：
システム電源をオンにして、放送を受信します →26
放送受信中のとき：放送バンドを切り換えます。 →34

❽ CDプレーヤーカバーオープン（≜）キー
CDプレーヤーカバーを開くときに使います。 →28 →29

❾ CDプレーヤーカバー

❿ 表示部 →19

⓫ DISPLAYキー
表示を切り換えるときに使います。 →43 →46

⓬ MENUキー
メニューモードにするとき、メニューモードを解除するときに使います。 →19 →24 →25

⓭ MULTI CONTROL（▽、△）キー
各種設定の選択、時刻合わせ、タイマー予約に使います。
→19 →24 →25 →27 →111

⓮ SETキー
電源オンのとき：メニューの設定や確定などに使います。 →19 →24 →25
放送受信中のとき：オートプリセットした放送局名をかえるときに使います。 →35

⓯ MD RECキー／インジケーター
キー
MDに録音するときに使います。 →45
インジケーター
MDで録音中に点灯し、録音一時停止中は点滅します。 →45

⓰ CD-R RECキー／インジケーター
キー
CD-R/RWに録音するときに使います。 →42
CD-R/RWのファイナライズ処理を実行するときに使います。 →106
インジケーター
CDRで録音中に点灯し、録音一時停止中は点滅します。
→42

⓱ FINALIZEキー／インジケーター
キー
CD-R/RWのファイナライズ処理するときに使います。
→106
インジケーター
ファイナライズ中に点滅します。 →106

⓲ AUX/D-AUX（外部入力）キー
AUX端子、デジタル入力端子に接続した機器の入力ソースを再生、録音するときに使います。 →26 →110

⓳ リモコン受光部

⓴ STANDBY/TIMERインジケーター
電源オンのとき：消灯
電源オフ（スタンバイ）のとき：赤色の点灯 →20
タイマースタンバイ状態：緑色の点灯
→24 →111

㉑ I/⏻キー
電源のオン／オフ（スタンバイ）を切り換えます。
→26 →111

㉒ PHONES端子
ステレオミニプラグのヘッドホン（別売）を接続します。
→27

㉓ フロントドア →3

㉔ MD挿入口

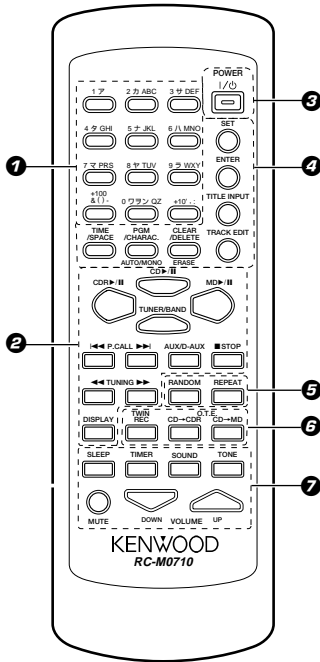
㉕ MD取出し（≜）キー
MDを取り出すときに使います。 →33

㉖ MD INインジケーター
ディスクがセットされて、再生、録音可能状態になると点灯します。 →32 →44

㉗ CD-R INインジケーター
ディスクがセットされて、再生、録音可能状態になると点灯します。 →30 →40

㉘ CDレコーダートレイ開閉（≜）キー
CDレコーダートレイを開閉するときに使います。
→30 →31

㉙ CDレコーダートレイ

リモコン部

型名：RC-M0710
赤外線方式

❶ 数字、文字入力キー

CD、CDR、MD入力のとき　：　数字キーとして使います。 →29 →31 →33
放送受信中のとき　：
放送局を呼び出すときまたはプリセットするときに使います。 →34 →37
MDにタイトル入力するとき：
文字や記号の選択に使います。 →85

❷ 基本操作キー

CD ▶/II（再生/一時停止）キー →26 →28 →29
CDR ▶/II（再生/一時停止）キー →26 →30 →31
MD ▶/II（再生/一時停止）キー →26 →32 →33

TUNER/BANDキー
入力を**TUNER**に切り換えます。 →26
放送バンドを切り換えます。 →34

|◀◀, ▶▶|キー
CD、CDR、MDで再生中のとき：
再生中の曲のスキップに使います。 →29 →31 →33
放送受信中のとき：
プリセットした放送局の選択に使います。 →34
MDにタイトル入力するとき：
文字や記号の選択に使います。 →86

AUX/D-AUX（外部入力）キー
AUX端子、デジタル入力端子に接続した機器の入力ソースを再生、録音するときに使います。 →26 →110

■ STOP（停止）キー
電源オフ（スタンバイ）のとき：
5秒間の時計表示をします。 →24
CD、CDR、MDで再生中のとき：再生を停止します。 →29 →31 →33
CDR、MDで録音中のとき：録音を停止します。 →42 →46
放送受信中のとき：
オート選局動作を止めるときに使います。 →37

◀◀, ▶▶キー
CD、CDR、MDで再生中のとき：
再生中の曲の早送り、早戻しに使います。 →29 →31 →33
放送受信中のとき：放送局の選択に使います。 →37
MDにタイトル入力するとき：
カーソルの移動に使います。 →85 →86

DISPLAYキー
表示部を切り換えるときに使います。 →43 →46

❸ POWER（I/⏻）キー →26 →111

❹ CD/CDR/MD編集関連キー

SETキー
CD、CDR、MD入力のとき：
プログラム再生の設定（**CD、MD**のみ）や確定などに使います。 →53 →54
放送受信中のとき　：
オートプリセットした放送局名をかえるときに使います。 →35

ENTERキー
MD入力のとき：
MD編集の確定などに使います。 →87 →92 →104
CDR入力のとき：
CD-RWをアンファイナライズ、消去処理するときに使います。 →107 →108 →109
放送受信中のとき：
マニュアルプリセットの確定に使います。 →37

TITLE INPUTキー
MDにタイトル入力をするときに使います。 →84

TRACK EDITキー
MDの曲を編集するとき、曲の入れ替え、消去などに使います。 →92

TIME/SPACEキー
CD、CDR、MD入力のとき：
タイトル表示や、再生、録音時間表示を切り換えるときおよび、タイトル入力（**MD**のみ）のとき1文字分の空白を入れます。 →29 →31 →33 →85 →86
放送受信中のとき：
周波数表示と局名表示を切り換えるときに使います。 →35

PGM/CHARAC.(AUTO/MONO)キー
CD、**MD**入力のとき：
プログラム再生(**CD**、**MD**)および入力文字グループの選択(**MD**のみ)に使います。 →53 →85 →86
放送受信中のとき：選局方法を選ぶときに使います。 →37

CLEAR/DELETE(ERASE)キー
CD、**CDR**、**MD**入力のとき：
プログラム再生(**CD**、**MD**のみ)や文字入力(**MD**のみ)の取り消しに使います。 →54 →85 →86
ファイナライズされたCD-RWを追記可能(アンファイナライズ)するとき(**CDR**のみ)に使います。 →107
追記可能CD-RWの1曲または全曲を消去するとき(**CDR**のみ)に使います。 →108 →109

❺ CD/CDR/MD再生関連キー

REPEATキー
CD、**CDR**、**MD**でくり返し再生するときに使います →55

RANDOMキー
CD、**MD**で曲順を順不同に再生します。 →56

❻ CDR/MD関連キー

TWIN RECキー
CD再生中に押すと、再生中の曲だけを、**CD**停止中に押すと、全曲をCD-R/RWとMDに同時録音します。→79 →81

CD→CDR O.T.E.キー
CD再生中に押すと再生中の曲だけを、**CD**停止中に押すと、CD全曲をCD-R/RWにワンタッチで録音します。
→62 →64 →67 →68

CD→MD O.T.E.キー
CD再生中に押すと再生中の曲だけを、**CD**停止中に押すと、CD全曲をMDにワンタッチで録音します。
→71 →73 →75 →77

❼ タイマー、音質関連キー

SLEEPキー
SLEEPタイマーを設定するときに使います。 →115

TIMERキー
各種タイマーの実行、解除するときに使います。 →111

SOUNDキー
S.DIRECT、**N.B.1**、**N.B.2**、および**TONE**を選ぶときに使います。 →27

TONEキー
低音域、中音域、高音域の音質調整に使います。 →27

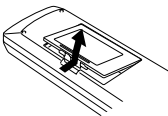
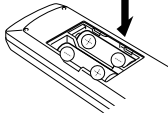
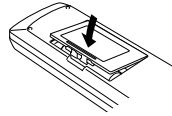
MUTEキー
一時的に音を消すときに使います。 →27

VOLUMEキー
音量、音質の調整に使います。 →26 →27

準備編

リモコンの使いかた

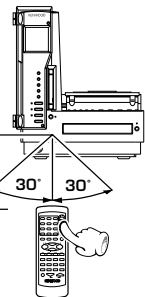
電池の入れかた

❶ カバーを開く

❷ 電池を入れる

❸ カバーを閉める

● 単三乾電池2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWER(I / ⏻)キーを押すと、電源がオンになります。電源がオン になったら、操作したいキーを押します。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす

1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

時刻合わせ

本機には、時計機能がついています。タイマー機能を使う前に必ず正確な時刻を合わせてください。

タイマー設定後、電源がオフ（スタンバイ）中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、**STANDBY/TIMER**インジケーターが緑色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。

電源をオンにする

1 時刻合わせモードにする

MENUキーを2秒以上押す

● 時間表示が点滅を始めます。

点滅

2 時間を合わせる

❶ MULTI CONTROLキーを押して"時"を合わせる

"時"が進む

"時"が戻る

❷ SETキーを押す

❶ 時を調整

点滅

● **SET**キーを押すと時間が設定されて、分表示が点滅します。
● 時間は12時間（AM/PM）で表示されます。

3 分を合わせる

❶ MULTI CONTROLキーを押して"分"を合わせる

"分"が進む

"分"が戻る

❷ SETキーを押す

❶ 分を調整

点滅

● 間違えて押したときは、**MENU**キーを押して最初からやり直してください。
● 時報と同時に**SET**キーを押すと正確に時刻を設定することができます。

電源オフ（スタンバイ）のとき：

本体の■（停止）キーまたはリモコンの■STOPキーを押すと5秒間だけ時計表示します。

メニューモードについて

メニューモードの操作

❶ MENU(メニュー)キーを押す

❷ 設定したい項目を選ぶ

❸ SET(セット)キーを押す

❷と❸をくり返し、設定します。

- 操作中に約20秒放置するとメニューモードは解除されます。
- メニューモードでの各設定を途中でやめる場合はもう一度MENU(メニュー)キーを押します。
- 録音中はメニューモードの切り換えはできません。

押すと表示が切り換わります。

"O.T.E. Mode(ワンタッチエディット モード) ?" → 62 → 71

"O.T.E. Speed(ワンタッチエディット スピード) ?" → 62 → 70

"Rec Input(レコーディング インプット) ?" → 49
(CD入力のとき)

"T. Mark(トラックマーク) ?" → 50
(CD、D-AUX入力以外のとき)

"MD Rec Mode(レコーディング モード) ?" → 48 → 70

"ケンメイセッテイ ?" → 35
(TUNER入力のとき)

"Skip Play(スキップ プレイ) ?" → 58
(CD、CDR入力のとき)

"Skip Track(スキップ トラック) ?" → 57
(CDR入力のとき)

"AUX Input(インプット) ?" → 43 → 47 → 110
(AUX入力のとき)

"Rec Gain(レコーディング ゲイン) ?" → 43 → 47
(AUX入力のとき)

"Bal.(バランス) ?" → 27

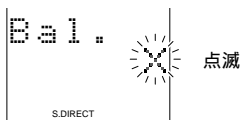
"Dimmer(ディマー) ?" → 19

"A.P.S. Set(オートパワーセーブ セット) ?" → 19

"Timer Set(タイマー セット) ?" → 111 → 112

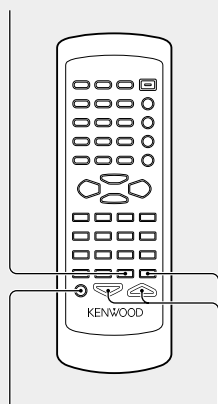
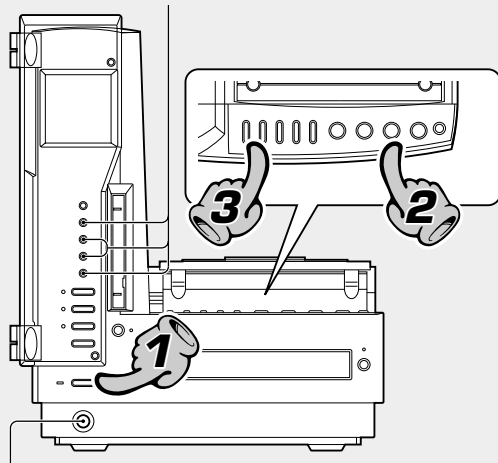
メニューモードの表示について("×"の表示)

メニューモードを操作するときの状態によっては、表示されていても選択し、設定できない項目があります。そのときは表示部右下に" × "が点滅します。そのまま SET(セット) キーを押すと、原因、状態などが表示されます。

例:バランス調整のとき

- **"?"**が点滅しているときは選択し、設定することができます。
- **"S.DIRECT(ソースダイレクト)"**を選択しているときは、**"Bal."**(バランス)調整はできません。

音を出してみましょう

1. 電源をオンにする(オフにする)

I/⏻

I/⏻キーを押す

電源がオンのときにI/⏻キーを押すとオフ(スタンバイ)になります。

- 電源をオンにしてから約5秒間は、回路保護の為ミュート(音が出ない)状態になります。
- 電源がオフ(スタンバイ)のとき**CD ▶/II**、**CD-R ▶/II**、**MD ▶/II**または、**TUNER(チューナー)/BAND(バンド)**、**AUX/D-AUX**キーを押すと、電源がオンになり、その入力に切り換わり再生(受信)状態になります。(ワンタッチオペレーション機能)
- 電源をオフ(スタンバイ)にするとき、I/⏻キーを押しても電源がオフになるまで時間がかかる場合があります。しばらくすると電源がオフになります。

2. 聴きたいソース(音源)を選ぶ

CDを選んだとき

(入力を切り換える)

TUNER(チューナー)(ラジオ放送) →34
CD(CDプレーヤー) →28
CDR(CDレコーダー) →30
MD(MDレコーダー) →32
AUX(外部アナログ機器) →110
D-AUX(外部デジタル機器) →110

CDを選んだとき

```
CD     01
    0:00
```

- **CD ▶/II**、**MD ▶/II**、**CD-R ▶/II**を押したとき、すでにディスクが入っている場合は再生が始まります。

3. 音量を調整する

- リモコンの**VOLUME(ボリューム)**キーでも同様の操作ができます。
- 表示部に目安の数字(**0～40**)を表示します。

```
CD     01
Vol    17
```

音量の表示

一時的に音を消す(MUTE)

リモコンのみ

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

ヘッドホンで聴く

❶ ヘッドホンのプラグをPHONES端子に差し込む

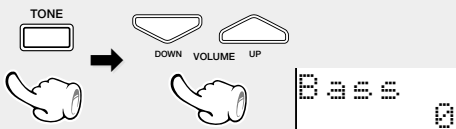
- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

❷ VOLUMEキーで音量を調整する

音質の調整 (TONE)

リモコンのみ

低音域(Bass)、中音域(Mid)、高音域(Treble)の調整ができます。調整をした場合はN.B.(ナチュラルバス)効果は解除されます。

❶ TONEキーを押して"Bass"の設定にする。VOLUMEキーでお好みのレベルを設定してください

❷ "Bass"表示中にTONEキーを押すと"Mid"の設定になります。VOLUMEキーでレベルを設定してください

❸ "Mid"表示中にTONEキーを押すと"Treble"の設定になります。VOLUMEキーでレベルを設定してください

❹ TONEキーを押して、調整を終了する

- **Bass**、**Mid**、**Treble**ともに**−4** ～**+4**の範囲で調整できます。

低音と高音を補正する(N.B. : Natural Bass circuit)

リモコンのみ

押すたびに表示が切り換わります。

① **"S.DIRECT" .... CDやMDなどソース(音源)の音を、本機の音質調整回路を通さずに、なるべく原音に忠実に聴くことができます。**
② **消灯 .... 音質調整された音を聴くことができます。**
③ **"N.B.1" .... 音量に応じて低音と高音を強調します。**
④ **"N.B.2" .... 低音のみ強調します。**

バランスの調整(Bal.)

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

❶ MENUキーを押す

❷ MULTI CONTROLキーを押して"Bal. ?"(バランス)を選び、SETキーを押す

- **S.DIRECT**を選んでいるときは、調整できません。**"×"**と表示されます。**"メニューモードの表示について"**→25

❸ MULTI CONTROLキーを押して、左右のバランスを調整する

- △(アップ)キーで右(R)チャンネル側、▽(ダウン)キーで左(L)チャンネル側に調整します。バランス中央値のときは**"Center"**と表示されます。

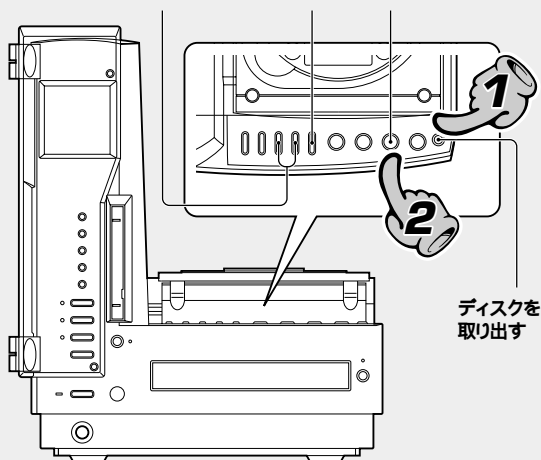
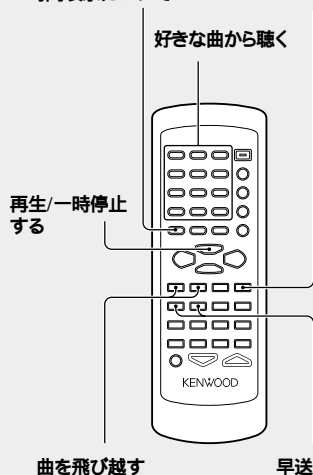
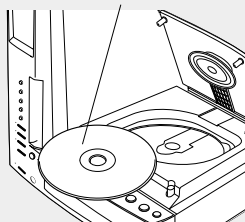
❹ SETキーを押す

CDを聴く

CDプレーヤーで聴く（CDレコーダーで聴くときは →30）

CDプレーヤーの時間表示について
再生を停止する
好きな曲から聴く
再生/一時停止する
曲を飛び越す
早送り・早戻しする
KENWOOD

曲を飛び越す
再生を停止する
再生/一時停止する
ディスクを取り出す
1
2

基本編

レーベル面を上にする

再生面には、触れないでください

1. ディスクを入れる

❶ **CDプレーヤーカバーオープン（▲）キーを押す**
❷ **ディスクを入れる**
❸ **CDプレーヤーカバーを手で閉める**

- 数秒間 **"CD Reading"**（リーディング）と表示されます（入力が **"CD"** のとき）。
- 8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。
- CDプレーヤーはファイナライズ処理済みのCD-R/RWも再生できますが、オーディオ信号以外のディスクは再生できません。また、本機以外の機器、パソコンで録音されたCD-R/RWは再生できない場合があります。

2. 再生をはじめる（入力が"CD"に切り換わります）

再生中の曲番 (上段)
曲の時間表示 (下段)

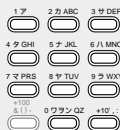
再生/一時停止する

● 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

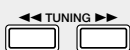
再生を停止する

好きな曲から聴く

リモコンのみ

曲を選ぶ

数字キーを押す順序は
12曲目なら .... +10, 2
20曲目なら .... +10, +10, 0

早送り・早戻しする

リモコンのみ

● 手を離したところから再生します。
● 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

曲を飛び越す

● 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
● 再生中に|◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
● さらに手前の曲にスキップするときは素早く|◀◀キー を押します。
● 停止中でも|◀◀, ▶▶|キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

ディスクを取り出す

CDプレーヤーの時間表示について

リモコンのみ

TIME/SPACE(タイム/スペース)キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

● プログラム再生などで、トータル256分以上になると **"- - : - -"**と表示され時間表示ができません。
● CDテキスト情報表示はCD TEXT対応ディスクではない場合や、テキストデータのないディスクの場合 **"••••••"**と表示されます。

CD TEXT 機能について

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。
表示できる文字数は約1000文字までです。それ以上は"Text Full(テキスト フル)"と表示されます。

基本編

CDレコーダーで聴く

1. ディスクを入れる

❶ **CDレコーダートレイ開閉(▲)キーを押す**
❷ **ディスクを入れる**
❸ **CDレコーダートレイ開閉(▲)キーを押す**

CD-R INインジケーターが点滅し、ディスクの識別完了後CD-R INインジケーターが点灯に変わります(再生可能状態になります)。

- 8cmCDを使用する際にアダプターは必要ありません。
- 市販されている音楽CDも再生できます。CD-R/RWは、ファイナライズされていなくても再生できますが、オーディオ信号以外のディスクは再生できません。また、本機以外の機器、パソコンで録音されたCD-R/RWは再生できない場合があります。
- トレイを閉めたあと、**CD-R IN**インジケーターが点滅している間はディスクを取り出すことはできません。

未使用のディスク、アンファイナライズのディスクなどをCD レコーダーに入れたとき、CD-R INインジケーターがしばらくの間点滅し続けることがあります。
"OPC処理について" →41

2. 再生をはじめる(入力が"CDR"に切り換わります)

再生中の曲番 (上段)
曲の時間表示 (下段)

再生/一時停止する

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を停止する

好きな曲から聴く

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10, 2

20曲目なら .... +10, +10, 0

早送り・早戻しする

- 手を離したところから再生します。
- 一時停止中は操作できません。

ディスクを取り出す

CD TEXT 機能について

本機では、CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。
表示できる文字数は1タイトルにつき23文字までです。それ以上は"XXX◄◄◄"と表示されます。

曲を飛び越す

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中にI◄◄キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早くI◄◄キーを押します。
- 停止中でもI◄◄, ►►Iキーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

CDレコーダーの時間表示について

- CDテキスト情報表示はCD TEXT対応ディスクではない場合や、テキストデータのないディスクの場合"••••••"と表示されます。

基本編

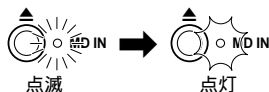
MDを聴く

矢印の方向に入れる

シャッターを下向きにする

1. ミニディスクを入れる

ミニディスクの方向をよく確認して挿入してください。

MD INインジケーターが点滅し、ディスクの内容を調べたあと、MD INインジケーターが点灯に変わります（再生可能状態になります）。

- 入力切り換えが**"MD"**のときは、タイトルが記録されているディスクを挿入するとディスクタイトルを表示します。

電源がオフ（スタンバイ）状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

2. 再生をはじめる（入力が"MD"に切り換わります）

再生中の曲番号

MD 001
0:07
SINGLE
LP 2

再生中の曲の経過時間

ＭＤを再生するとその曲の録音モード（**MD Rec Mode**（レコーディング モード））が自動で認識され、表示します（**LP2,LP4,MONO**（モノラル））。また、ステレオ録音モード（**Stereo**（ステレオ））のときは表示は消灯します。

→ 48

再生/一時停止する

● 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を停止する

好きな曲から聴く

リモコンのみ

曲を選ぶ

数字キーを押す順序は

12曲目なら .... +10, 2
20曲目なら .... +10, +10, 0
213曲目なら .... +100, +100, +10, 3

早送り・早戻しする

リモコンのみ

● 手を離したところから再生します。
● 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

ミニディスクを取り出す

● ミニディスクを、取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

曲を飛び越す

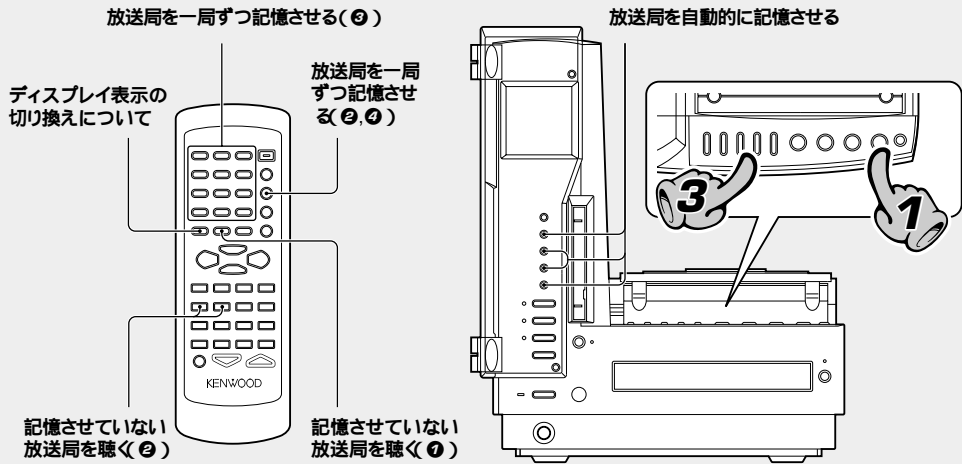
● 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
● 再生中に⏮キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
● さらに手前の曲にスキップするときは素早く⏮キー を押します。
● 停止中でも⏮、⏭キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生が始まります。

MDレコーダーの時間表示について

リモコンのみ

TIME/SPACE(タイム スペース)キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

● プログラム再生などで、トータル1000分以上になると**"- - - : - -"**と表示され時間表示ができません。
● タイトルの入力されてない曲は、トラック番号と**"••••••"**と表示されます。

ラジオ放送を聴く

1. 入力をチューナーにする

放送バンドは、TUNER/BANDキー押すたびに切り換わります。

FM
AM

2. 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット） →35

お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット（記憶）されます。これらの 放送局を受信すると、放送局名を（FM 放送のみ）表示します。

- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からオートプリセットする必要はありません。

放送局を1局ずつ記憶させる（マニュアルプリセット） →37

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは**"記憶させていない放送局を聴く（オート選局、マニュアル選局）"**をお読みください。 →37

3. 放送局を呼び出す（プリセットコール）

オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、|◀◀ または ▶▶|を押して選局します。押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

受信すると**"TUNED"**表示が点灯します。

▶▶| を押すと
1 → 2 → 3 ..... 38 → 39 → 40 → 1 .....
|◀◀ を押すと
40 → 39 → 38 ..... 3 → 2 → 1 → 40.....

- **リモコンでは、|◀◀、▶▶|キーあるいは数字キーを押して選局します。**

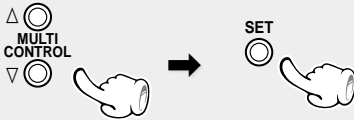
数字キーを押す順序は

12番目なら .... +10, 2　　20番目なら ... +10, +10, 0

放送局を自動的に記憶させる(オートプリセット)(エリア別FM放送局名自動表示)

❶ **TUNER/BAND キーを押して入力をチューナーにする**

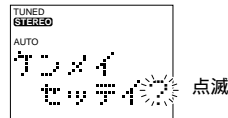
❷ **MENU キーを押す**

❸ **MULTI CONTROL キーを押して "ケンメイセッテイ?" を選び SET キーを押す**

❹ **MULTI CONTROLキーを押して、お住まいの都道府県名を選ぶ**

❺ **SET キーを押す**

オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。
放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"→36 **に載っているFM放送局のみに対応しています。**

- オートプリセット中は他の操作をしないでください。

点滅

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、**"ミセッテイ"** と表示されます。

"トウキョウ"を選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、**"エリア別FM放送局名自動表示リスト"**に従ってオートプリセットされます。 →36

- **"Auto Preset"**表示がスクロールして順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および**"TUNED"**が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。 →34
- オートプリセットが終ると、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。
- オートプリセットをおこなうと、今までに記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SETキーを押して隣接する地域(都道府県)のリストにある別の放送局名にかえることができます。押す度に切り換わります。隣接する地域(都道府県)に該当する放送局がない場合は切り換わりません。

ディスプレイ表示の切り換えについて(リモコンのみ)

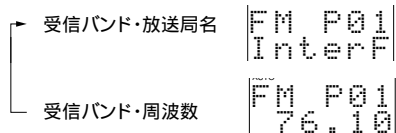
オートプリセットしたFM局の表示を切り換えます。

TIME/SPACEキーを押すたびに切り換わります。

受信バンド・放送局名　FM P01 InterF

受信バンド・周波数　FM P01 76.10

- 放送局名がスクロールします。

基本編

エリア別FM放送局名自動表示リスト

2000年 8月現在

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G’
	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	Co - much FM
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J - WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ
	静岡エフエム放送	K・MIX
中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP - FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E - Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO･CO･LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム山陰	V - air
	岡山エフエム放送	FMオカヤマ
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	PassionWave
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY - FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK 第一	NHKラジオ 1
	FEN 沖縄	FEN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

記憶させていない放送局を聴く（オート選局、マニュアル選局）

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。

電波の状態が良いとき　　：オート選局モード
電波が弱く雑音が多いとき　：マニュアル選局モード

● FM放送はマニュアル選局モードでは、モノラル受信となります。

❶ オート選局とマニュアル選局を切り換える（リモコンのみ）

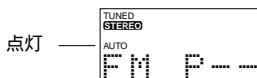
押すたびに切り換わります。

① **オート選局　"AUTO"（オート） 点灯**

② **マニュアル選局　"AUTO"（オート） 消灯**

（通常はオート選局にしておきます。）

オート選局のとき

点灯
TUNED
STEREO
AUTO
FM P--

❷ 選局をする

周波数が上がる
◀◀ TUNING ▶▶
周波数が下がる

オート選局のとき：
キーを押すごとに次々に受信します。
マニュアル選局のとき：
希望する放送局を受信するまで 押す。

● オート選局中に止めたいときはリモコンの■ **STOP**（ストップ）キー、または本体の■（停止）キーを押します。

放送局を1局ずつ記憶させる（マニュアルプリセット）

❶ "記憶させていない放送局を聴く"の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する

❷ 受信中にリモコンのENTER（エンター）キーを押す

ENTER

❸ リモコンの数字キーで1〜40までのプリセット番号を任意に選ぶ

数字キーを押す順序は

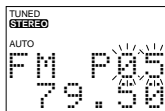
12番目なら............ +10, 2

20番目なら............ +10, +10, 0

● プリセットを続けるときは、手順❶〜❹を繰り返します。

● 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

❹ ENTER（エンター）キーを押す

ENTER

操作中に約20秒放置すると、プリセットは中止されます。

基本編

録音について

再生、録音装置と録音形式（デジタル／アナログ）について

本機では再生、録音装置の組み合わせにより、録音形式（デジタル／アナログ）は次の表のようになります。

再生装置＼録音装置	CD レコーダー	MD レコーダー
CD プレーヤー（**CD**）	デジタル録音またはアナログ録音	デジタル録音またはアナログ録音
CD レコーダー（**CDR**）		アナログ録音のみ
MD レコーダー（**MD**）	アナログ録音のみ	
外部アナログ機器（**AUX**）	アナログ録音のみ	アナログ録音のみ
外部デジタル機器（**D-AUX**）	デジタル録音のみ	デジタル録音のみ
ラジオ放送（**TUNER**）	アナログ録音のみ	アナログ録音のみ

- CDプレーヤーからCDレコーダーまたはMDレコーダーへの録音では、デジタル録音かアナログ録音を選択することができます。（**"Rec Input"**（レコーディングインプット）→49）
- CDや、外部デジタル機器からの信号によっては**SCMS**により、デジタル録音できない場合があります。→39
- 本機で録音できる外部機器のデジタル信号については**"サンプリング・レート・コンバーターについて"**をお読みください。→39

録音機能について

本機では、通常の録音の他に、次のような録音機能があります。

❑ ***CDプレーヤーからCDレコーダー、MDレコーダーへ倍速デジタル録音*** →59

カンタンな操作でCDの全曲、または1曲を、通常再生の2倍のスピードでCD-R/RW、MDにデジタル録音することができます。

❑ ***MDステレオ長時間録音（MDロングプレイモード）対応*** →48

MDでの録音は、通常の録音の約2倍、約4倍のステレオ長時間録音ができます。

ステレオ長時間録音について

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4 モードは LP2 モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

Rec Mode（レコーディング モード）**（録音モード）**	**圧縮方式**	**最長録音時間（80分MD使用時）**
Stereo（ステレオ） **（ステレオ録音モード）**	**ATRAC＊**	**約80分**
MONO（モノラル） **（モノラル録音モード）**		**約160分**
LP2 **（ステレオ2倍長時間録音モード）**	**ATRAC 3-LP2**	**約160分**
LP4 **（ステレオ4倍長時間録音モード）**	**ATRAC 3-LP4**	**約320分**

＊.... ATRAC ：Adaptive TRansform Acoustic Coding（アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング）

基本編

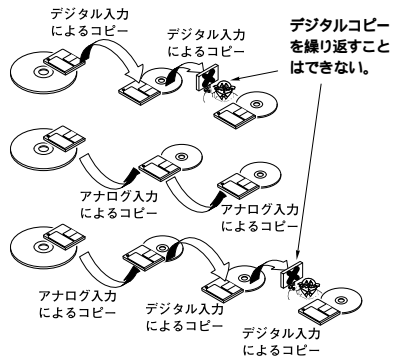
サンプリング・レート・コンバーターについて

通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

32 kHz　: DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。
44.1 kHz: DATの標準モード、CD、MD等。
48 kHz　: DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。
（DAT:Digital Audio Tapedeck）

一般的にデジタル伝送による高音質録音をする場合、ソース機器側と録音機器側のサンプリング周波数が一致していなければ録音できません。本機は、サンプリング・レート・コンバーターを内蔵しているので、32kHz, 48kHzのデジタル信号は、サンプリング周波数に変換して録音することができます。

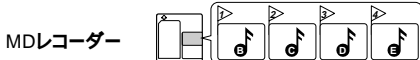
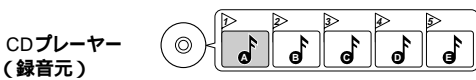
デジタル録音とSCMS（Serial Copy Management System）について

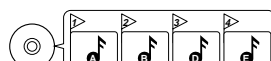
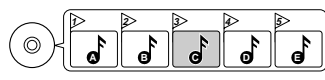
シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

本機CDプレーヤーからのデジタル録音で、セットしたディスクの中にSCMSによりデジタル録音ができない曲があった場合、次のようになります。

デジタル録音できる曲

SCMSによりデジタル録音できない曲

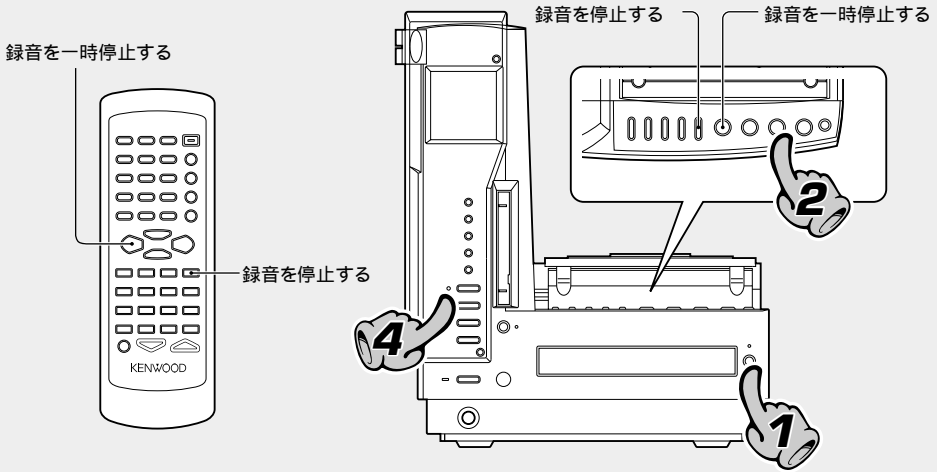
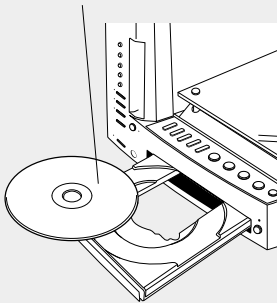
SCMSによりデジタル録音ができない曲の場合、"SCMS"が点滅します。

1曲目（「A」の曲）が、SCMSによりデジタル録音ができない曲がある場合

CDレコーダー　：全曲録音しません。
MDレコーダー　：「A」をのぞき録音します。

途中の曲（3曲目「C」の曲）が、SCMSにより デジタル録音ができない曲がある場合

CDレコーダー　：「C」をのぞき録音します。
MDレコーダー　：「C」をのぞき録音します。

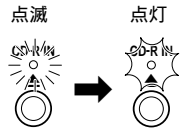
- CD の再生は **"SCMS"** が点滅しても、停止せずに終了まで再生し続けます。
- 全ての曲が **SCMS** によりデジタル録音できない場合は、全ての曲を録音しません。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。→49

CD-R/RWに録音する

テキスト情報が記録されているCDやMDなどの場合、テキストデータはコピーされません。

レーベル面を上にしてセットする

1. ディスクを入れる

(CD-R/RWをCDレコーダーにセットする)

❶ **CDレコーダートレイ開閉(▲)キーを押す**
❷ **録音可能なCD-RまたはCD-RWを入れる** →6 →7

❸ **CDレコーダートレイ開閉(▲)キーを押す**

- CD-R/RWにキズ、ホコリなどがないか確認してください。
- CD-R/RWがすでに録音されている場合、最終トラックの最後を自動的に検索し、そこから録音を開始します。

CD-R INインジケーターが点滅し、ディスクの識別完了後、CD-R INインジケーターが点灯に変わります(録音可能状態になります)。

- CDを録音するときは、CDプレーヤーに録音元の音楽CDを入れて、CD-R/RWをCDレコーダーに入れてください。
- トレイを閉めたあと、**CD-R IN**インジケーターが点滅している間はディスクを取り出すことはできません。
- **"FINALIZED CD-RW"**(ファイナライズド)と表示されたときは、アンファイナライズ処理することで、追加録音可能となります。 →107

未使用のディスク、アンファイナライズのディスクなどをCD レコーダーに入れたとき、CD-R INインジケーターがしばらくの間点滅し続けることがあります。
"OPC処理について" →41

2. 録音するソース(音源)を選ぶ

TUNER(ラジオ放送)	: TUNER/BANDキーを押す
CD	: CD ▶/IIキーを押す
MD	: MD ▶/IIキーを押す
AUX(外部アナログ機器)	: AUX/D-AUXキーを"AUX"と表示されるまで繰り返し押す
D-AUX(外部デジタル機器)	: AUX/D-AUXキーを"D-AUX"と表示されるまで繰り返し押す

CDを選ぶ場合

CD ▶/II
2

- **CD ▶/II**または、**MD ▶/II**を押した場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まりますので■(停止)キーを押して停止させてください。
- ソース(音源)の選択が**"CD"**または**"D-AUX"**以外はデジタル録音できません。また、これらのソース(音源)でも**SCMS**によりデジタル録音できないときがあります。 →39
- **"D-AUX"**を選んだときに**"Unlock"**と表示されたときは、**"メッセージ表示の一覧"**をご覧ください。 →122

CD 01
0:00
SINGLE

選ばれた録音するソースが表示されます。

3. 録音の準備をする

TUNER(ラジオ放送)	: 選局する
CD	: 録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする
MD	: 録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする
AUX(外部アナログ機器)	: 受信や再生などの準備をする →110
D-AUX(外部デジタル機器)	: 受信や再生などの準備をする →110

- 録音入力の設定をかえることができます。必要に応じて設定してください。**"録音入力の設定をかえる"** →49
- **"AUX"**(外部アナログ機器)を選んだときのみ、入力レベルを調整することができます。外部アナログ機器からの音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合など、必要に応じて調整してください。(**AUX Input、Rec Gain**) →43

次ページにつづく

OPC処理について(OPC:Optimum Power Control)

**未使用のディスク、アンファイナライズのディスクなどをCD レコーダーに入れたとき、OPC処理を行うため、CD-R INインジケーターがしばらくの間点滅する場合があります。
OPC処理は、ディスクに最適なレーザー照射強度と時間を計算するため試験的に、ディスクに書き込みを行っています。
本機では一度OPC 処理を行ったディスクはその情報をCDレコーダーに記録し、同じディスクを入れたときに、OPC 処理をせず録音できるようになっています。24 枚分のディスクの情報を記憶できます。この枚数を超えた場合、ディスクによっては一度使用したディスクでもOPC 処理をすることになります。OPC処理中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。
入力切り換えが"CDR"の場合、OPC処理中は"OPC"と表示されます(最長2分間)。**

4. 録音を始める

❶ CD-R RECキーを押す（録音一時停止状態になります）

- **CD-R REC**キーを押すと、**CD-R REC**インジケーターが点滅し始め、点滅が早い点滅から遅い点滅にかわり、録音一時停止状態になります。

❷ CD-Rインジケーターが遅い点滅にかわったら、もう一度CD-R RECキーを押す（録音が始まります）

- **CD-R REC**インジケーターが早く点滅しているときは、録音の準備をしています。遅い点滅にかわってから**CD-R REC**キーを押してください。
- 本機のCDプレーヤーからのデジタル録音、または外部デジタル機器からの録音のときは次の手順❸の操作を行なうまで録音は始まりません。

❸ ソース（音源）の再生を始める

- **"CDR"**表示が点灯し、**CD-R REC**インジケーターも点灯します。
- 同時にMDにも録音したいときは手順❶、❷で**MD REC**キーも押します。
- 録音が終了すると**"CDR Writing"**表示になります。
- 録音に失敗した曲がある場合、再生したときに失敗した曲を飛び越すようにディスクに登録することができます。（ファイナライズ処理する前に登録します）**"聴きたくない曲をCD-R/RWにスキップ登録する（SKIP TRACK）"** →57
- CD-RWのみ消去することができます。**"CD-RWの録音消去"** →108→109
- 録音したディスクを本機のCDプレーヤーや他のCDプレーヤーで再生したいときはファイナライズ処理をする必要があります。**"CD-R/RWのファイナライズ（FINALIZE）"** →106

録音中に"SCMS"と表示されたら →39

表示部にメッセージが表示されたときは →122

"CDR Writing"表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

録音を一時停止する

- 録音一時停止状態からもう一度キーを押すと、その時点から録音を再開します。このときトラック番号は**"1"**繰り上がります。
- **"CDR"**表示が点滅し、**CD-R REC**インジケーターも点滅します。
- リモコンの**CDR ▶/❚❚**キーでも操作できます。

録音を停止する

- **CD**を録音中に■（停止）キーを押すと**CD**再生も停止します。
- **MD**を録音中に■（停止）キーを押すと**MD**再生も停止します。
- リモコンの■ **STOP**キーでも操作できます。

録音側の時間表示を切り換えるには

❶ DISPLAYキーを押して、録音側のディスプレイ表示に切り換える

- 再生側（CDプレーヤーなど）
- 録音側（CDレコーダー）
- 録音側（MDレコーダー）
（同時録音のとき表示します）

● リモコンの**DISPLAY**キーでも切り換えることができます。

❷ TIME/SPACEキーを押して、時間表示を切り換える

外部アナログ機器の入力レベルを調整する（AUX Input、Rec Gain）

カセットデッキなどの外部アナログ機器の音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合、適正な録音レベルで録音されない場合があります。
次の調整を行なってから録音してください。

外部アナログ機器の入力レベルを調整する（AUX Input）

外部アナログ機器からの音声が、本機で再生するCD、MDなどの音声と同じレベルで聴こえるように調整します。

❶ AUX/D-AUXキーを"AUX"と表示されるまで繰り返し押す
❷ MENUキーを押す
❸ MULTI CONTROLキーを押して"AUX Input ?"を選びSETキーを押す
❹ MULTI CONTROLキーを押して録音レベル（-5〜+2）を調整する
❺ SETキーを押して確定する

AUX
Input? 点滅

AUX In
0 —— レベル値

● この調整で入力レベルを**+2**（最大）にしても、外部アナログ機器の音声がいちじるしく小さい場合や、調整後録音した音声がいちじるしく小さい場合には、次の録音入力レベルの調整（**Rec Gain**）を行ないます。

外部アナログ機器の録音レベルを調整する（Rec Gain）

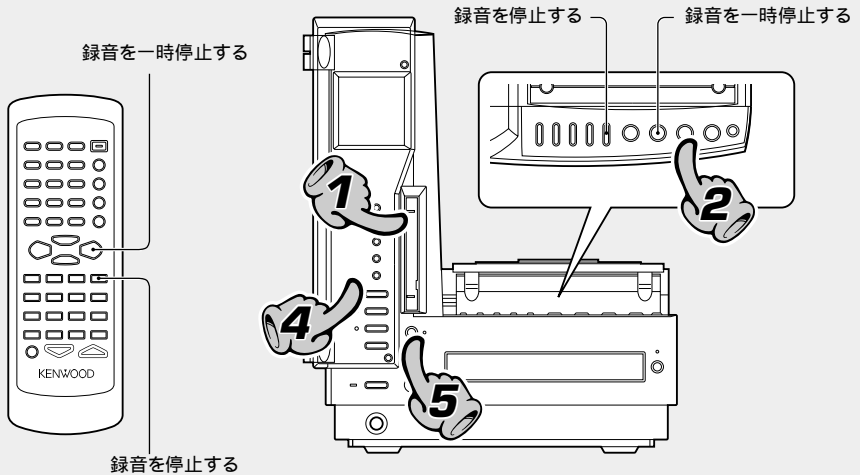
❶ AUX/D-AUXキーを"AUX"と表示されるまで繰り返し押す
❷ MENUキーを押す
❸ MULTI CONTROLキーを押して"Rec Gain ?"を選びSETキーを押す
❹ MULTI CONTROLキーを押して"High"を選ぶ
❺ SETキーを押して確定する

Rec
Gain? 点滅

● この調整を**"High"**に設定することにより、録音レベルが高くなりすぎると、音がひずむ場合があります。

基本編

MDに録音する

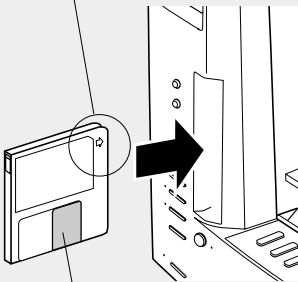
テキスト情報が記録されているCDやCD-R/RWの場合、TEXTデータはコピーされません。

1.ディスクを入れる

ミニディスクの方向をよく確認して挿入してください。

❶ 録音用ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする → 9
❷ 録音用ミニディスクを入れる

MD INインジケーターが点滅し、ディスクの内容を調べたあと、MD INインジケーターが点灯に変わります（録音可能状態になります）。

- 入力切り換えが**"MD"**のときは、タイトルが記録されているディスクを挿入するとディスクタイトルを表示します。

電源がオフ（スタンバイ）状態のときは、ミニディスクの出し入れはできません。スタンバイ状態のときに無理にミニディスクを入れないでください。故障の原因となります。

2. 録音するソース(音源)を選ぶ

CDを選ぶ場合

TUNER(ラジオ放送) : TUNER/BANDキーを押す
CD : CD ▶/IIキーを押す
CDR : CD-R ▶/IIキーを押す
AUX(外部アナログ機器) : AUX/D-AUXキーを"AUX"と表示されるまで繰り返し押す
D-AUX(外部デジタル機器) : AUX/D-AUXキーを"D-AUX"と表示されるまで繰り返し押す

- **CD ▶/II**、または**CD-R ▶/II**を押した場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まりますので ■(停止)キーを押して停止させてください。
- ソース(音源)の選択が**"CD"**または**"D-AUX"**以外はデジタル録音できません。また、これらのソース(音源)でも**SCMS**によりデジタル録音できないときがあります。 →39
- **"D-AUX"**を選んだときに**"Unlock"**と表示されたときは、**"メッセージ表示の一覧"**をご覧ください。 →122

CD 01
0:00
SINGLE

選ばれた録音するソースが表示されます。

3. 録音の準備をする

TUNER(ラジオ放送) : 選局する
CDまたはCDR : 録音したい曲(トラック)のはじめで再生一時停止にする
AUX(アナログ録音) : 受信や再生などの準備をする →110
D-AUX(デジタル録音) : 受信や再生などの準備をする →110

- 最長で通常の約4倍の長時間録音をすることができます。必要に応じて選んでください。(**MD Rec Mode**) →48
- 録音入力の設定をかえることができます。必要に応じて設定してください。**"録音入力の設定をかえる"** →49
- **"AUX"**(外部アナログ機器)を選んだときのみ、入力レベルを調整することができます。外部アナログ機器からの音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合など、必要に応じて調整してください。(**AUX Input、Rec Gain**) →47

4. 録音を始める

❶ **MD RECキーを押す(録音一時停止状態になります)**
❷ **準備ができていれば、もう一度MD RECキーを押す(録音が始まります)**
❸ **ソース(音源)の再生を始める**

- "MD"表示が点灯し、**MD REC**インジケーターも点灯します。
- 同時にCD-R/RWにも録音したいときは手順❶、❷で**CDR REC**キーも押します。

録音中に"SCMS"と表示されたら →39

表示部にメッセージが表示されたときは →122

基本編

次ページにつづく

5. 録音終了後、ミニディスクを取り出す

- 録音が終わったら、必ずミニディスクを取り出してください。**"MD Writing"**表示中に録音情報がミニディスクに書き込まれた後、取り出されます。

"MD Writing"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。また表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、録音や編集した情報が消滅します。

録音を一時停止する

- 録音一時停止状態からもう一度キーを押すと、その時点から録音を再開します。このときトラック番号は**"1"**繰り上がります。
- **"MD"**表示が点滅し、**MD REC**インジケーターも点滅します。
- リモコンの**MD ►/II**キーでも操作できます。

録音を停止する

- **CD**を録音中に■(停止)キーを押すと**CD**再生も停止します。
- **CDR**を録音中に■(停止)キーを押すと**CDR**再生も停止します。
- リモコンの■ **STOP**キーでも操作できます。

基本編

録音側の時間表示を切り換えるには

❶ **DISPLAYキーを押して、録音側のディスプレイ表示に切り換える**

- 再生側(CDプレーヤーなど)
- 録音側(CDレコーダー)
  (同時録音のとき表示します)
- 録音側(MDレコーダー)

❷ **TIME/SPACEキーを押して、時間表示を切り換える**

- 録音可能残り時間 …………………… MD 002 13:07 REMAIN MD
- 録音中の曲の経過時間 MD 002 1:53 SINGLE MD

- リモコンの**DISPLAY**キーでも切り換えることができます。

外部アナログ機器の入力レベルを調整する（AUX Input、Rec Gain）

カセットデッキなどの外部アナログ機器の音声レベルが小さすぎる場合や大きすぎる場合、適正な録音レベルで録音されない場合があります。
次の調整を行なってから録音してください。

外部アナログ機器の入力レベルを調整する（AUX Input）

外部アナログ機器からの音声が、本機で再生するCD、MDなどの音声と同じレベルで聴こえるように調整します。

❶ AUX/D-AUXキーを"AUX"と表示されるまで繰り返し押す
❷ MENUキーを押す
❸ MULTI CONTROLキーを押して"AUX Input ?"を選びSETキーを押す
❹ MULTI CONTROLキーを押して録音レベル（-5〜+2）を調整する
❺ SETキーを押して確定する

AUX In
0
レベル値

- この調整で入力レベルを**+2**（最大）にしても、外部アナログ機器の音声がいちじるしく小さい場合や、調整後録音した音声がいちじるしく小さい場合には、次の録音入力レベルの調整（**Rec Gain**）を行ないます。

外部アナログ機器の録音レベルを調整する（Rec Gain）

❶ AUX/D-AUXキーを"AUX"と表示されるまで繰り返し押す
❷ MENUキーを押す
❸ MULTI CONTROLキーを押して"Rec Gain ?"を選びSETキーを押す
❹ MULTI CONTROLキーを押して"High"を選ぶ
❺ SETキーを押して確定する

Rec
Gain?
点滅

R.Gain
High

- この調整を**"High"**に設定することにより、録音レベルが高くなりすぎると、音がひずむ場合があります。

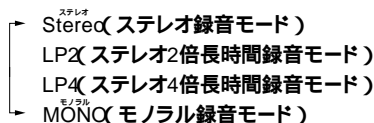
MDに長時間録音をする(MD Rec Mode)

必要に合わせてMDの録音モードをかえることができます。
また、ステレオ長時間録音(LP2、LP4)で録音するときのみ、曲のタイトルの始めの部分に"LP:"というタイトルを自動的に入力する、入力しないを選ぶことができます(MDスタンプ機能)。

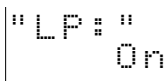
❶ MENUキーを押す

❷ MULTI CONTROLキーを押して"MD Rec Mode ?"を選びSETキーを押す

MD Rec
Mode?
点滅

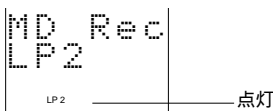
❸ MULTI CONTROLキーを押して録音したいモードを選び、SETキーを押す

"Stereo"または"MONO"を選択したときは設定終了
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

- Stereo(ステレオ録音モード)
- LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)
- LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)
- MONO(モノラル録音モード)

❹ MULTI CONTROLキーを押してMDスタンプ機能の"On"または"Off"を選び、SETキーを押す

"LP:"
On

- On... 録音した曲に"LP:"というタイトルを自動的に入力する
- Off .. 録音した曲に"LP:"というタイトルを入力しない

Rec Mode(録音モード)	Rec Mode表示
Stereo(ステレオ録音モード)	消灯
LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)	LP2
LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)	LP4
MONO(モノラル録音モード)	MONO

点灯

- Rec Mode表示は停止中または録音中は、設定されているモードを表示します。再生中はその曲の録音モードを表示します。

MDスタンプ機能について

本機でステレオ長時間録音(LP2/LP4)で録音された曲のタイトルの始めの部分に"LP:"を自動的につける機能です。"LP:"というタイトルはステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。

ステレオ長時間モードで録音したMDをステレオ長時間モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません(MDスタンプ機能を使っているときは、その曲のタイトルの始めの部分に"LP:"と表示されます)。これらの機器でステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在しているMDを再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。
このようなMDを再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

異なる録音モードで録音した曲はMDの編集機能で制限があります。"曲をつなぐ(COMBINE)" → 98

基本編

録音入力の設定をかえる

CD-R/RWまたはMDに録音するときに必要に応じて入力ソースによって入力設定を変更することができます。
"D-AUX"(外部デジタル機器)からの録音では入力設定を変更することができません

- ❑ **デジタル録音/アナログ録音を切り換える** .... **Rec Input**
- ❑ **アナログ録音時、トラック番号(曲番号)を自動で付ける、または手動で付けるを切り換える** .... **T.Mark**
- ❑ **アナログ録音時のトラック番号(曲番号)を自動で付ける場合に、無音検出レベルを調整する** .... **Cut Lv.**

設定項目 \ 入力ソース	CD	CDR	MD	TUNER	AUX	D-AUX
Rec Input(デジタル/アナログの設定)	○	×*1	×*1	×*1	×*1	×*2
T.Mark(自動/手動の設定)	○*3	○	○	○	○	×*4
Cut Lv.(無音検出レベルの調整)	×*5	×*5	×*5	○	○	×*5

○.. 設定可能　× .. 設定不可
*1 ... アナログ録音に固定
*2 ... デジタル録音に固定
*3 ... アナログ録音時のみ可能
*4 ... "Auto"(自動)に固定
*5 ... 録音元がデジタル信号の場合、無音検出はしません

録音する入力ソース(音源)に合わせて入力切り換えを行なってから、それぞれの手順から設定をはじめてください。

"CD"から録音するとき(CD ▶/❚❚キーを押す) **手順1へ**
"CDR"から録音するとき(CDR ▶/❚❚キーを押す) **手順2へ**
"MD"から録音するとき(MD ▶/❚❚キーを押す) **手順2へ**
"TUNER"から録音するとき(TUNER/BANDキーを押す) **手順2へ**
"AUX"から録音するとき(AUX/D-AUXキーを"AUX"と表示されるまで繰り返し押す) **手順2へ**

- **CD ▶/❚❚**、**CD-R ▶/❚❚**または**MD ▶/❚❚**を押した場合、すでにディスクがセットされているときは、再生が始まりますので■(停止) キーを押して停止させてください。

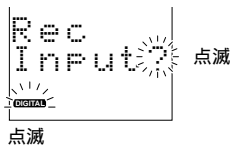
1 *デジタル録音またはアナログ録音を選ぶ(Rec Input) (CDプレーヤーからの録音時のみ)*

❶ **MENUキーを押す**

❷ **MULTI CONTROLキーで"Rec Input ?"を選び、確定する**

❸ **MULTI CONTROLキーで"Dig."(デジタル録音)または"Ana."(アナログ録音)を選び、確定する**

"Dig."(デジタル録音)を選択したときは設定終了
"Ana."(アナログ録音)を選択したときは手順2-❸へ

CDからの録音の場合**SCMS**(→39)によりデジタル録音できない場合があります。そのときは**"Ana."**(アナログ)に切り換えて録音してください。

- **"Dig."(デジタル録音)**を選ぶと**"DIGITAL"**表示が点灯し、**"Ana."(アナログ録音)**を選ぶと**"DIGITAL"**表示が消灯します。
- デジタル録音のときはデジタル信号の情報をもとに、トラック番号を自動的に**"1"**繰り上げるので、無音の検出はしません。CDの早送り、早戻し中にトラック番号が繰り上がった場合、CDレコーダーでは正しくトラック番号が繰り上がらない場合があります。再生側のCDが停止すると、無音のトラックを作ることがあります。

次のページへつづく

2 トラック番号の設定を選ぶ（T.Mark）

トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

❶ MENUキーを押す

❷ MULTI CONTROLキーで"T.Mark ?"を選び、確定する

❸ MULTI CONTROLキーで"Auto"または"Manual"を選び、確定する

"Auto"を選択

入力ソース（音源）が"CD"、"CDR"または"MD"のときは設定終了

入力ソース（音源）が"TUNER"または"AUX"のときは手順❹へ

"Manual"を選択したときは設定終了

```
T.Mark
Auto
```

- **"Auto"** .... 録音時、トラック番号を自動的に付けて録音する
- **"Manual"** ... 録音時、トラック番号を手動で付けて録音する

基本編

Auto（自動）：

通常の録音時はこのモードにしておきます。

入力ソース（音源）がCD、CDR、MDからの録音の場合：

トラック番号等の情報ごとアナログ信号に変換されるため、その信号をもとに録音元の音源と同じところに自動的にトラック番号がつきます。

入力ソース（音源）がTUNER、AUXからの録音の場合：

信号が２秒以上一定のレベル以下（レベルは調整することができます。手順❹**"Cut Lv."**）になって、次にそのレベルを超える信号が入ってくるのを検知してトラック番号を自動的に **"1"** 繰り上げます。
チューナーからの録音の場合、信号のノイズ等により、２秒以上一定のレベル以下にならないときがあるので、トラック番号が繰り上がらない場合があります。また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、２秒以上一定のレベル以下と検知してトラック番号が **"1"** 繰り上がる場合があります。
このような音楽の場合は、**"Manual"** で録音するか、**"Cut Lv."** で調整してください。

Manual（手動）：

自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中（本体の**SET**キーを押す*）にトラック番号を付けることができます。ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などのディスクを録音するときなどに便利です。

* CDの規格により、CD-R/RWの場合４秒以内の曲にはトラック番号を付けることができません。また、TWIN REC (→61)中に **SET** キーを押すと、CD-R/RW、MD 同時にトラック番号が付きます。

3 自動無音検出のレベルを設定する(Cut Lv.)

**トラック番号を付けるための自動無音検出レベルを調整します。調整しないときはそのままSETキーを押します。
トラック番号の設定(T.Mark)を"Auto"にしても、録音ソースの曲間無音部分のレベルによっては、トラック番号が繰り上がらない場合があります。このような場合は無音検出レベルを上げてください。
逆に曲間でないところでトラック番号が付く場合は、無音検出レベルを下げてください。**

❶ MULTI CONTROLキーで自動無音検出レベルを調整する

❷ 設定モードを終了する

- 無音検出レベル値は**-2**〜**+2**で調整できます。

  ＋..... 無音検出レベル上がる
  －..... 無音検出レベル下がる

- 無音検出レベル値を調整してもトラック番号の付き方が改善しない場合もあります。

いろいろな再生

本機では、通常の再生の他に、次のような再生機能があります。用途に応じて選んでください。
再生機器によってはできない機能があります。

説明文中の CD CDR MD は、再生(登録)できる機器を示しています。

CD .... CDプレーヤー
CDR .... CDレコーダー
MD .... MDプレーヤー

曲順を並べ替えて聴くときは

プログラム再生 CD MD

ディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲まで)

→ 53

繰り返し聴くときは

リピート再生 CD CDR MD

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

→ 55

曲順を順不同に楽しむときは

ランダム再生 CD MD

毎回曲がランダムに選択されるので、飽きることなく楽しめます。

→ 56

聴きたくない曲をCD-R/RWにスキップ登録する

SKIP TRACK(スキップ トラック) CDR

録音を失敗した曲など、再生するときに飛ばしたい曲をあらかじめディスクに登録しておくと、自動的に飛び越して再生できるようになります。

→ 57

スキップ登録した曲を飛び越して再生する

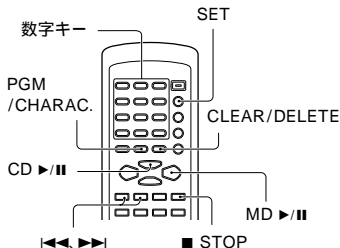
SKIP PLAY(スキップ プレイ) CD CDR

SKIP TRACKが登録されたCD-R/RWをCDプレーヤー、CDレコーダーどちらで再生しても、登録された曲を自動的に飛び越して再生をすることができます。

→ 58

曲順を並べ替えて聴く
（プログラム再生） CD MD

ディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲まで)

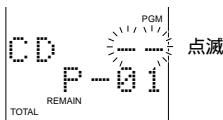
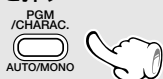
CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、ファイナライズする必要があります。 →106

入力切り換えを"CD"、または"MD"、にする →28 →32

1 停止を確認する

再生中のとき

■ STOP（ストップ）キーを押す

2 "PGM（プログラム）"表示を点灯させる

PGM（プログラム）/CHARAC.（キャラクター）キーを押す

3 聴きたい順に曲を選ぶ

❶ 数字キーで曲番号を選ぶ

20秒以内に手順❷を行う

数字キーを押す順序は

12曲目なら............ +10, 2

20曲目なら............ +10, +10, 0

❷ SET（セット）キーを押す

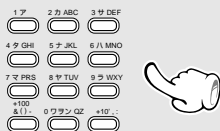
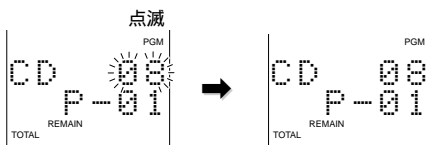
❸ 手順❶、❷を繰り返す

❶ 選曲　点滅

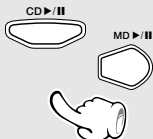
CD 08 P-01 (PGM / REMAIN / TOTAL)

➡

❷ 確定

CD 08 P-01 (PGM / REMAIN / TOTAL)

- 確定後、時間表示に切りかわります。
- 曲番号は◀◀,▶▶キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。**"PGM（プログラム） Full（フル）"**と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- トラック番号表示の点滅中に**SET（セット）**キーを押さないと入力が中止されます。

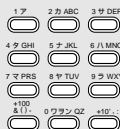
4 再生する

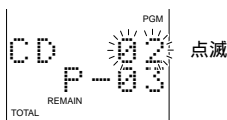
▶/IIキーを押す

- プログラムで選んだ順（**PGM-**番号順）に再生します。
- 再生中に ◀◀ または ▶▶ キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に ◀◀ キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

応用編

曲を追加するには (リモコンのみ)

停止中に押す

❶ 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

数字キーを押す順序は
12曲目なら............ +10, 2
20曲目なら............ +10, +10, 0

❷ SETキーを押す

- 曲番号は⏮,⏭キーでも選ぶことができます。
- 32曲まで選べます。**"PGM Full"**と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには (リモコンのみ)

CLEAR/DELETEキーを押す

停止中に押す

- **CLEAR/DELETE**キーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

PGM
P-02
Clear
REMAIN
TOTAL

プログラムを解除するには (リモコンのみ)

PGM/CHARAC.キーを押す

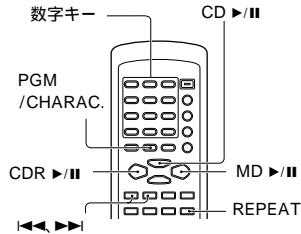
停止中に押す

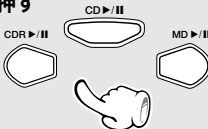
- CDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
- 電源をオフ(スタンバイ)にする、または▲キーを押すと設定したPGMモード再生は解除されます。
- MDで録音操作をすると、MDのPGMモードは解除されます。

繰り返し聴く（リピート再生）

CD CDR MD

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

CD-R/RWをリピート再生するときは、ファイナライズする必要があります。 →106

入力切り換えを"CD"、"CDR"、または"MD"にする →28 →30 →32

1枚のディスクを繰り返し聴く

❶ **"PGM"表示の消灯を確かめる**

❷ **REPEATキーを繰り返し押して"REPEAT"を選ぶ**

❸ **▶/IIキーを押す**

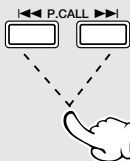
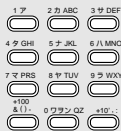
● **"PGM"**表示が点灯しているときは、**PGM/CHARAC.**キーを押して消灯させてください。

❷ **"REPEAT"**

点灯

1曲だけを繰り返し聴く

❶ **"PGM"表示の消灯を確かめる**

❷ **数字キーまたは|◀◀、▶▶|で聴きたい曲番号を選ぶと再生が始まる**

数字キーを押す順序は

12曲目なら............ +10, 2

20曲目なら............ +10, +10, 0

❸ **REPEATキーを繰り返し押して"REPEAT ONE"を選ぶ**

❸ **"REPEAT ONE"**

REPEAT ONE
CD 01
0:12

点灯

選んだ曲だけを繰り返し聴く CD MD

❶ **"曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順❸までを行い、聴きたい曲をプログラムする** →53

❷ **REPEATキーを繰り返し押して"REPEAT"を選ぶ**

❸ **▶/IIキーを押す**

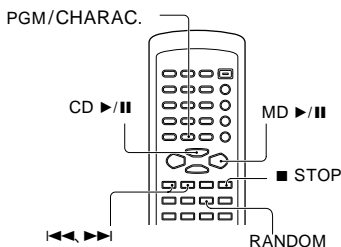
リピート再生をやめるには

REPEATキーを"REPEAT"表示が消えるまで繰り返し押す

● **"REPEAT"**表示が消灯しても再生を続けます。

曲順を順不同に楽しむ
（ランダム再生） CD MD

毎回曲がランダムに選択されるので、飽きることなく楽しめます。

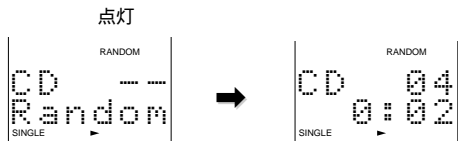
CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、ファイナライズする必要があります。 →106

入力切り換えを"CD"または"MD"にする →28 →32

1 "PGM"表示の消灯を確かめる

- **"PGM"**表示が点灯しているときは、**PGM/CHARAC.**キーを押して消灯させてください。

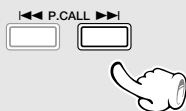
2 ランダム再生を始める

RANDOMキーを押す

点灯

- 全曲の再生が1回終わると停止します。
- **REPEAT**キーを押して**"REPEAT"**を選ぶと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

▶▶|キーを押す

|◀◀ P.CALL ▶▶|

- |◀◀キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

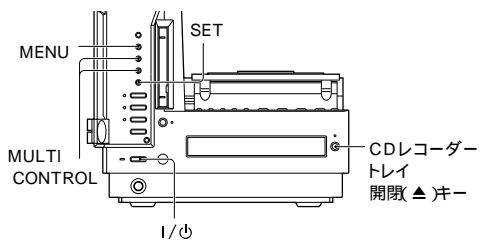
再生中にRANDOMまたは■ STOPキーを押す

- **RANDOM**キーを押すと曲番号順の再生に戻ります。
  ■ **STOP**キーを押すと停止状態になります。

聴きたくない曲をCD-R/RWにスキップ登録する（SKIP TRACK） CDR

録音を失敗した曲など、再生するときに飛ばしたい曲をあらかじめディスクに書き込んでおくと、自動的に飛び越して再生（SKIP PLAY）できるようになります。

入力切り換えを"CDR"にする

→30

❶ 録音可能なCD-R/RWをCDレコーダーにセットする →30

❷ MENUキーを押す

❸ "Skip Track ?"と表示されるまでMULTI CONTROLキーを押し、確定する

点滅

❹ 飛ばしたい曲をMULTI CONTROLキーで選択してSETキーで確定する

点滅

❺ MULTI CONTROLキーで"On"を選択する

SKIP
Skip01
On

❻ SETキーを押すと"Complete"表示になる

スキップ登録が確定します

Comple

スクロールします

ファイナライズ処理済ディスクには登録できません。またディスクに書き込まずに、電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、登録情報がクリアーされます。

他の曲をスキップ登録するには

手順❷〜❻を繰り返す。

スキップ登録を解除するには

1. **手順❶〜❸を行う**
2. **手順❹でスキップ登録を解除したい曲を選択する**
3. **手順❺で"Off"を選択してSETキーを押す**

"Complete"と表示し、解除が確定します。

- 必要に応じて手順 **1〜3**を繰り返します。

登録内容を試聴するには

スキップ登録情報をディスクに書き込む前に、**SKIP PLAY**を行うことができます。**"スキップ登録した曲を飛び越して再生する"**→58の手順❶〜❹を行い、**CD-R ▶/II**キーを押して再生します。

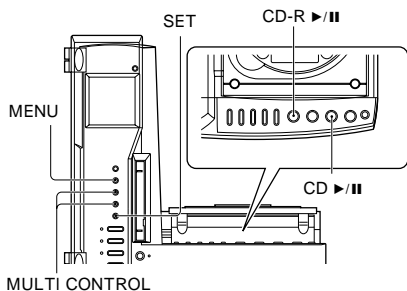
スキップ登録情報をディスクに書き込むには

CDレコーダートレイ開閉（▲）キーを押す。または I/⏻キーを押して電源オフ（スタンバイ）にする。

- 登録や解除の情報をディスクに書き込む回数はディスクごとに21回までできます。**"CDR Skip Full"**と表示されると、それ以上は登録や解除はできません。

スキップ登録した曲を飛び越して再生する(SKIP PLAY) CD CDR

スキッププレイの設定をオンにすると、セットするディスクにスキップ登録がされていれば、CDプレーヤー、CDレコーダーのどちらで再生しても、自動的にスキップ再生となります。

CD-R/RWをCDプレーヤーで再生するときは、ファイナライズする必要があります。 →106

入力切り換えを"CD"または"CDR"にする。停止中に操作してください →28 →30

❶ **MENUキーを押す**

❷ **"Skip Play ?"と表示されるまでMULTI CONTROLキーを押す**

SKIP PLAY
Skip
Play? 点滅

❸ **SETキーを押す**

❹ **MULTI CONTROLキーで"On"を選択してSETキーで確定する**

SKIP PLAY
Skip P
On

❺ **スキップ登録したCD-R/RWをセットする** →57

❻ **再生する**

または

スキップ再生を解除するには

1. **手順❶〜❸を行う**
2. **手順❹で"Off"を選択してSETキーを押す**

他のレコーダーでスキップ登録されたディスクをCDレコーダー部で再生すると、スキップ再生にならない場合があります。

CDからの便利な録音あれこれ

本機では、通常の録音の他に、CDプレーヤーからの録音には次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください。

説明文中の CD CDR MD は、再生または録音する機器を示しています。

CD .... CDプレーヤー
CDR .... CDレコーダー
MD .... MDプレーヤー

（ CD → CDR は、CDプレーヤーで録音元のディスクを再生し、CDレコーダーで録音することを示しています。）

CDからCD-R/RWに録音する機能について CD → CDR

CDの録音を簡単に早く終わらせたいときは

ワンタッチエディット倍速録音（O.T.E.）（High）

全曲倍速録音（High） → カンタンな操作でCDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでCD-R/RWに録音することができます。 →62

1曲倍速録音（High） → そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作で通常再生の2倍のスピードでCD-R/RWに録音することができます。（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。） →64

CDの録音を簡単にしたいときは

ワンタッチエディット通常速録音（O.T.E.）（Norm）

全曲録音（Norm） → カンタンな操作でCDの全曲を、CD-R/RWに録音することができます。 →66

1曲録音（Norm） → そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作でCD-R/RWに録音することができます。（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。） →66

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは

プログラム録音（プログラム再生（PGM）＋O.T.E.）

プログラム録音（Norm） → CDをプログラムした曲順で録音します。（CDの曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。） →68

HDCDやDTSディスクをCDレコーダーで録音するときは、通常速録音で録音してください。

CDからMDに録音する機能について CD → MD

本機では、通常の録音の他に、CDプレーヤーからの録音には次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください。

CDの録音を簡単に早く終わらせたいときは

ワンタッチエディット倍速録音（High）

カンタンな操作でCDの全曲を、通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。 →70

1曲倍速録音（High）

そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作で通常再生の2倍のスピードでMDに録音することができます。
（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。） →72

CDの録音を簡単にしたいときは

ワンタッチエディット通常速録音（O.T.E.）（Norm）

カンタンな操作でCDの全曲を、MDに録音することができます。 →74

1曲録音（Norm）

そのときに聴いているCDの曲だけを、カンタンな操作でMDに録音することができます。
（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。） →74

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは

プログラム録音（プログラム再生（PGM）＋O.T.E.）

CDをプログラムした曲順で録音します。
（CDの曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。） →76

ミニディスクに録音した後は、▲キーを押して必ずディスクを取り出してください。取り出すときに録音情報がミニディスクに書き込まれます。

CDからCD-R/RW、MDに同時録音する機能について

CDから、CD-R/RWとMDに同時録音がしたいときは

CD-R/RW、MD同時録音（TWIN REC） CD → CDR MD

全曲同時録音（Norm） ➡ CDの全曲を、CD-R/RWとMDに同時に録音できます。→78

1曲同時録音（Norm） ➡ その時に聴いているCDの曲だけを、CD-R/RWとMDに同時に録音できます。
（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。） →78

CDの曲を選び曲順を並びかえて同時録音がしたいときは

CD-R/RW、MD同時録音（プログラム再生（PGM）＋ TWIN REC） CD → CDR MD

プログラム同時録音（Norm） ➡ CDをプログラムした曲順で、CD-R/RWとMDに同時に録音できます。
（CDの曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。） →80

応用編

"CDR Writing"表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

ミニディスクに録音した後は、▲キーを押して必ずディスクを取り出してください。取り出すときに録音情報がミニディスクに書き込まれます。

CDの全曲をカンタンな操作で倍速録音する CD → CDR
(ワンタッチエディット全曲録音) (O.T.E.)(High)

**CDからCD-R/RWにカンタン操作でデジタル倍速録音することができます。(アナログでは倍速録音できません。)
ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて"**→39

CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ **CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる** →40

❷ **CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる** →28

- CD-R/RW を CD レコーダーに入れたときに **CD-R IN** インジケーターがしばらくの間点滅していることがあります。
"OPC 処理について " →41
- CD‐RWからの倍速録音はできません。通常速録音で録音してください。 →66

2 録音スピードを選ぶ

❶ **MENUキーを押す**

❷ **MULTI CONTROLキーで"O.T.E. Speed ?"を選んでSETキーを押す**

❸ **MULTI CONTROLキーで"<High>"を選んでSETキーを押す**

押すたびに文字表示部が切り換わります。

① **<High>..... (倍速で録音する)**
② **<Norm> ... (通常速度で録音する)**

3 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる

4 録音を始める

❶ **MENUキーを押す**

❷ **MULTI CONTROLキーで"O.T.E. Mode ?"を選んでSETキーを押す**

❸ **MULTI CONTROLキーで"CD→CDR <High>"を選んでSETキーを押すと倍速録音が始まります**

押すたびに文字表示部が切り換わります。

① **CD→CDR <High>**
② **CD→MD <High>**
③ **Twin Rec**

- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- CDの1曲目から録音が始まり、全曲を録音します。
- **CD**再生または**CDR**録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 自動的にデジタル録音になりますが、**SCMS(**→39)により デジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。→66

リモコンで操作するときは O.T.E. CD→CDRキーを押します。

● 録音が終了すると、**"CDR Writing(ライティング)"**表示になります。

> **"CDR Writing"表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。**
> **録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。**

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(→39)によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(High(ハイ))を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されまaす。

Wait
74min.

続けて録音したい場合は、通常速録音(Norm(ノーマル))で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International(インターナショナル) Standard(スタンダード) Recording(レコーディング) Code(コード))をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体■(停止)キー、またはリモコン■ STOP(ストップ)キーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

録音したCD-R/RWをファイナライズ処理するには

→106

CDの1曲をカンタンな操作で倍速録音する CD → CDR
(ワンタッチエディット1曲録音)(O.T.E.)(High)

CDからCD-R/RWにカンタン操作でデジタル倍速録音することができます。(アナログでは倍速録音できません。)ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →39

CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ **CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる** →40

❷ **CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる** →28

- CD-R/RWをCDレコーダーに入れたときに**CD-R IN**インジケーターがしばらくの間点滅していることがあります。**"OPC処理について"** →41
- CD-RWからの倍速録音はできません。通常速録音で録音してください。 →66

2 録音スピードを選ぶ

❶ **MENUキーを押す**

❷ **MULTI CONTROLキーで"O.T.E. Speed ?"を選んでSETキーを押す**

❸ **MULTI CONTROLキーで"<High>"を選んでSETキーを押す**

押すたびに文字表示部が切り換わります。
① **<High>..... (倍速で録音する)**
② **<Norm> ... (通常速度で録音する)**

3 録音したい曲を再生する

❶ **CDを再生する**

❷ **録音したい曲を再生する**

4 録音を始める

❶ **MENUキーを押す**

❷ **MULTI CONTROLキーで"O.T.E. Mode ?"を選んでSETキーを押す**

❸ **MULTI CONTROLキーで"CD→CDR <High>"を選んでSETキーを押すと倍速録音が始まります**

リモコンで操作するときはO.T.E. CD→CDRキーを押します。

押すたびに文字表示部が切り換わります。
① **CD→CDR <High>**
② **CD→MD <High>**
③ **Twin Rec**

- 曲の途中で実行してもその曲の初めから録音が始まります。
- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- **CD**再生または**CDR**録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 自動的にデジタル録音になりますが、**SCMS**(→39)によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。 →66
- 録音が終了すると**CD**は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

● 録音が終了すると、**"CDR Writing"**表示になります。

"CDR Writing"表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音（High）を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

Wait
74min.

続けて録音したい場合は、通常速録音（Norm）で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code）をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体■（停止）キー、またはリモコン■ STOPキーを押します。
（録音、再生ともに停止します。）

録音したCD-R/RWをファイナライズ処理するには

→106

CDをワンタッチで録音する CD → CDR
(ワンタッチエディット通常速録音) (O.T.E.) (Norm)

CDの全曲を、ワンタッチで録音できます。(全曲録音)
CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。(1曲録音)
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →39

入力切り換えを"CD"にする。CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは次の操作でアナログ録音に切り換えたあと、手順2から設定を始めてください。
"録音入力の設定をかえる" →49

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

1 録音の準備をする

❶ **CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる** →40
❷ **CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる** →28

- CD-R/RWをCDレコーダーに入れたときに**CD-R IN**インジケーターがしばらくの間点滅していることがあります。
"OPC処理について" →41

2 録音スピードを選ぶ

❶ **MENUキーを押す**

❷ **MULTI CONTROLキーで"O.T.E. Speed ?"を選んでSETキーを押す**

押すたびに文字表示部が切り換わります。
① **<High> ..... (倍速で録音する)**
② **<Norm> ... (通常速度で録音する)**

❸ **MULTI CONTROLキーで"<Norm>"を選んでSETキーを押す**

3 CDの再生状態を確認する

全曲録音するとき	1曲録音するとき
再生中のときは停止させる	**録音したい曲を再生する** CD ►/II ● 曲の途中で**O.T.E. CD→CDR**キーを押しても、その曲の初めから録音が始まります。

4 録音を始める

- **CD**再生または**CDR**録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 本体で操作する場合は、メニューモードの**"O.T.E. Mode"**を選び、**"CD→CDR <Norm>"**を選んで**SET**（セット）キーを押すと録音が始まります。
- 録音が終了すると、**"CDR Writing**（ライティング）**"**表示になります。
- 再生するディスクによっては、**SCMS**（→39）によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →49

"CDR Writing"表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→39）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。

録音を途中でやめるには

本体■（停止）キー、またはリモコン■ STOP（ストップ）キーを押します。
（録音、再生ともに停止します。）

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

→106

曲順を並べ替えて録音する CD → CDR
(プログラム再生(PGM)+O.T.E.(ワンタッチエディット))

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをCD-R/RWに録音することができます。(倍速録音はできません)
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →39

入力切り換えを"CD"にする。CDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは次の操作でアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"録音入力の設定をかえる" →49

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL(デジタル)"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL(デジタル)"消灯 .... アナログ録音

1 録音の準備をする

❶ **CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる** →40
❷ **CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる** →28
❸ **表示部の"HIGH(ハイ)"(録音スピードが倍速になっている)表示が消灯していることを確認する**

- CD-R/RWをCDレコーダーに入れたときに**CD-R IN**インジケーターがしばらくの間点滅していることがあります。**"OPC処理について"** →41
- 表示部に**"HIGH(ハイ)"**と表示されているときは、メニューモードの**"O.T.E. Speed ?"**を選び、**"<Norm(ノーマル)>"**を選んで**SET(セット)**キーを押すと、**"HIGH(ハイ)"**表示が消灯します。 →66

2 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる

3 CDの曲順をプログラムする

"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順2〜3で録音する曲をプログラムをする →53

4 録音を始める

- PGMモードでは倍速録音はできません。
- プログラムの1曲目から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- **CD**プログラム再生または**CDR**録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 本体で操作する場合は、メニューモードの**"O.T.E. Mode"**を選び、**"CD→CDR <Norm>"**を選んで**SET(セット)**キーを押すと録音が始まります。
- 再生するディスクによっては、**SCMS**(→39)によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →49

● 録音が終了すると、**"CDR Writing"**（ライティング）表示になります。

"CDR Writing"表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS（→39）によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。

録音を途中でやめるには

本体■（停止）キー、またはリモコン■ STOP（ストップ）キーを押します。
（録音、再生ともに停止します。）

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

→106

CDの全曲をカンタンな操作で倍速録音する CD → MD
(ワンタッチエディット全曲録音) (O.T.E.)(High)

CDからMDにカンタン操作でデジタル倍速録音することができます。(アナログでは倍速録音できません。)
ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" → 39

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ **録音用MDをミニディスク挿入口に入れる** → 44
❷ **CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる** → 28

- CDレコーダーからは録音はできません。
- CD-RWからの倍速録音はできません。通常速録音で録音してください。

2 録音スピードを選ぶ

❶ **MENUキーを押す**
❷ **MULTI CONTROLキーで"O.T.E. Speed ?"を選んでSETキーを押す**
❸ **MULTI CONTROLキーで"<High>"を選んでSETキーを押す**

押すたびに文字表示部が切り換わります。
- ① **<High> ..... (倍速で録音する)**
- ② **<Norm> ... (通常速度で録音する)**

3 録音モードを選ぶ

❶ **MENUキーを押す**
❷ **MULTI CONTROLキーで"MD Rec Mode ?"を選んでSETキーを押す**
❸ **MULTI CONTROLキーで録音したいモードを選び、SETキーを押す**

"Stereo"または"MONO"を選択したときは手順4へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

❹ **MULTI CONTROLキーを押してMDスタンプ機能(** → 48 **)の"On"または"Off"を選び、SETキーを押す**

- 録音モードを変更しないときは手順4に進んでください。

押すたびに文字表示部が切り換わります。
- ① **Stereo .... ステレオ録音モード**
- ② **LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード**
- ③ **LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード**
- ④ **MONO .... モノラル録音モード**

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、**"Stereo"** または **"MONO"** で録音してください。 → 48

押すたびに文字表示部が切り換わります。
- **On ... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する**
- **Off .. 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない**

- 設定が終了すると **"Complete"** と表示されます。

4 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる

5 録音を始める

❶ MENUキーを押す

❷ MULTI CONTROLキーで"O.T.E. Mode ?"を選んでSETキーを押す

❸ MULTI CONTROLキーで"CD→MD <High>"を選んでSETキーを押すと倍速録音が始まります

リモコンで操作するときは O.T.E. CD→MDキーを押します。

押すたびに文字表示部が切り換わります。

① **CD→CDR <High>**
② **CD→MD <High>**
③ **Twin Rec**

- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- CDの1曲目から録音が始まり、全曲を録音します。
- **CD**再生または**MD**録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 自動的にデジタル録音になりますが、**SCMS**(→39)によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。→74

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(→39)によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

6 録音終了後ミニディスクを取り出す

"MD Writing"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(High)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

Wait
74min.

続けて録音したい場合は、通常速録音(Norm)で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体■(停止)キー、またはリモコン■ STOPキーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

応用編

CDの1曲をカンタンな操作で倍速録音する CD → MD
(ワンタッチエディット1曲録音) (O.T.E.)(High)

CDからMDにカンタン操作で倍速録音することができます。(アナログでは倍速録音できません。)
ファイナライズ処理済みのCD-Rから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて"→39

MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ **録音用MDをミニディスク挿入口に入れる** →44
❷ **CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる** →28

- CDレコーダーからは録音はできません。
- CD-RWからの倍速録音はできません。通常速録音で録音してください。

2 録音スピードを選ぶ

❶ **MENUキーを押す**
❷ **MULTI CONTROLキーで"O.T.E. Speed ?"を選んでSETキーを押す**
❸ **MULTI CONTROLキーで"<High>"を選んでSETキーを押す**

押すたびに文字表示部が切り換わります。
① **<High>..... (倍速で録音する)**
② **<Norm> ... (通常速度で録音する)**

3 録音モードを選ぶ

❶ **MENUキーを押す**
❷ **MULTI CONTROLキーで"MD Rec Mode ?"を選んでSETキーを押す**
❸ **MULTI CONTROLキーで録音したいモードを選び、SETキーを押す**

"Stereo"または"MONO"を選択したときは手順4へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

❹ **MULTI CONTROLキーを押してMDスタンプ機能(**→48**)の"On"または"Off"を選び、SETキーを押す**

- 録音モードを変更しないときは手順4に進んでください。

押すたびに文字表示部が切り換わります。
① **Stereo .... ステレオ録音モード**
② **LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード**
③ **LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード**
④ **MONO .... モノラル録音モード**

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、**"Stereo"**または**"MONO"**で録音してください。 →48

押すたびに文字表示部が切り換わります。
On ... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
Off .. 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

- 設定が終了すると**"Complete"**と表示されます。

4 録音したい曲を再生する

❶ **CDを再生する**

❷ **録音したい曲を再生する**

5 録音を始める

❶ **MENUキーを押す**

❷ **MULTI CONTROLキーで"O.T.E. Mode ?"を選んでSETキーを押す**

❸ **MULTI CONTROLキーで"CD→MD <High>"を選んでSETキーを押すと倍速録音が始まります**

リモコンで操作するときは O.T.E. CD→MDキーを押します。

押すたびに文字表示部が切り換わります。

① **CD→CDR <High>**
② **CD→MD <High>**
③ **Twin Rec**

- 倍速録音中は、CDの倍速再生音が小音量で聴こえます。
- 曲の途中で実行しても、その曲の初めから録音が始まります。
- **CD**再生または**MD**録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 自動的にデジタル録音になりますが、**SCMS**(→39)によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて、通常速録音で録音してください。→74
- 録音が終了すると**CD**は一時停止状態になり、最終曲のときは停止します。

6 録音終了後ミニディスクを取り出す

"MD Writing"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音する曲によっては、その曲の倍速録音(High)を始めてから74分以内に同じ曲の倍速録音およびその曲を含むディスクの全曲倍速録音ができない場合があります。このような場合、再び倍速で録音できるまでの時間が表示されます。

Wait
74min.

続けて録音したい場合は、通常速録音(Norm)で録音してください。

本機ではCDの曲ごとの固有なデータ(ISRC: International Standard Recording Code)をもとに、その曲の連続倍速録音を禁止するか、しないかを判断します。

録音を途中でやめるには

本体■(停止)キー、またはリモコン■ STOPキーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

応用編

CDをワンタッチで録音する CD → MD

(ワンタッチエディット通常速録音) (O.T.E.) (Norm)

CDの全曲を、ワンタッチで録音できます。(全曲録音)
CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。(1曲録音)
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →39

入力切り換えを"CD"にする。MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは次の操作でアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"録音入力の設定をかえる" →49

SINGLE
DIGITAL

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

1 録音の準備をする

❶ **録音用MDをミニディスク挿入口に入れる** →44
❷ **CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる** →28

● CD レコーダーからは録音はできません。

2 録音スピードを選ぶ

❶ **MENUキーを押す**
❷ **MULTI CONTROLキーで"O.T.E. Speed ?"を選んでSETキーを押す**
❸ **MULTI CONTROLキーで"<Norm>"を選んでSETキーを押す**

押すたびに文字表示部が切り換わります。
① **<High> ..... (倍速で録音する)**
② **<Norm> ... (通常速度で録音する)**

3 録音モードを選ぶ

❶ **MENUキーを押す**
❷ **MULTI CONTROLキーで"MD Rec Mode ?"を選んでSETキーを押す**
❸ **MULTI CONTROLキーで録音したいモードを選び、SETキーを押す**

"Stereo"または"MONO"を選択したときは手順4へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

● 録音モードを変更しないときは手順4に進んでください。

押すたびに文字表示部が切り換わります。
① **Stereo .... ステレオ録音モード**
② **LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード**
③ **LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード**
④ **MONO .... モノラル録音モード**

❹ **MULTI CONTROLキーを押してMDスタンプ機能(**→48**)の"On"または"Off"を選び、SETキーを押す**

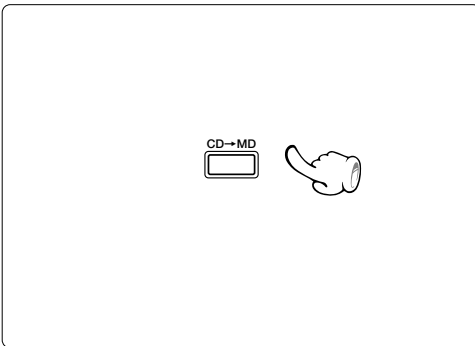
● 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、**"Stereo"**または **"MONO"** で録音してください。 →48

押すたびに文字表示部が切り換わります。
On ... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
Off .. 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

● 設定が終了すると **"Complete"** と表示されます。

4 CDの再生状態を確認する

全曲録音するとき	1曲録音するとき
再生中のときは停止させる ■	**録音したい曲を再生する** CD ▶/II ● 曲の途中で **O.T.E. CD → MD** キーを押しても、その曲の初めから録音が始まります。

5 録音を始める

- **CD**再生または**MD**録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 本体で操作する場合は、メニューモードの**"O.T.E. Mode"**を選び、**"CD→MD <Norm>"**を選んで**SET**キーを押すと録音が始まります。
- 再生するディスクによっては、**SCMS**(→39)によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →49

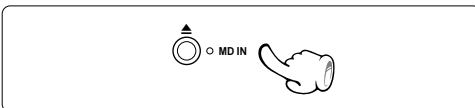
デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(→39)によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

6 録音終了後ミニディスクを取り出す

"MD Writing"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

本体■(停止)キー、またはリモコン■ STOPキーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

応用編

曲順を並べ替えて録音する CD → MD
(プログラム再生(PGM)+O.T.E.)

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをMDに録音することができます。
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて"→39

入力切り換えを"CD"にする。MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは次の操作でアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"録音入力の設定をかえる" →49

SINGLE
DIGITAL

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

1 録音の準備をする

❶ **録音用MDをミニディスク挿入口に入れる** →44

❷ **CDプレーヤーに録音元のディスクを入れる**→28
❸ **表示部の"HIGH"(録音スピードが倍速になっている)表示が消灯していることを確認する**

- CD レコーダーからは録音はできません。
- 表示部に **"HIGH"** と表示されているときは、メニューモードの **"O.T.E. Speed ?"**を選び、**"<Norm>"**を選んで**SET**キーを押すと、**"HIGH"** 表示が消灯します。 →74

2 録音モードを選ぶ

❶ **MENUキーを押す**
❷ **MULTI CONTROLキーで"MD Rec Mode ?"を選んでSETキーを押す**
❸ **MULTI CONTROLキーで録音したいモードを選び、SETキーを押す**

"Stereo"または"MONO"を選択したときは手順3へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順4へ

❹ **MULTI CONTROLキーを押してMDスタンプ機能(→48)の"On"または"Off"を選び、SETキーを押す**

- 録音モードを変更しないときは手順3に進んでください。

押すたびに文字表示部が切り換わります。
① **Stereo .... ステレオ録音モード**
② **LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード**
③ **LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード**
④ **MONO .... モノラル録音モード**

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、**"Stereo"** または **"MONO"** で録音してください。 →48

押すたびに文字表示部が切り換わります。
On ... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
Off .. 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない
- 設定が終了すると **"Complete"** と表示されます。

3 CDの再生状態を確認する

再生中の時は停止させる

4 CDの曲順をプログラムする

"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順2〜3で録音する曲をプログラムをする →53

5 録音を始める

- PGM モードでは倍速録音はできません。
- 本体で操作する場合は、メニューモードの**"O.T.E. Mode"**を選び、**"CD→MD <Norm>"**を選んで**SET**(セット)キーを押すと録音が始まります。
- プログラムの1曲目から録音が始まり、全プログラムを録音します。
- 再生するディスクによっては、**SCMS**(→39)によりデジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →49
- **CD**プログラム再生または**MD**録音のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

デジタル録音では、録音元のディスクに、SCMS(→39)によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合、その曲で"SCMS"と表示され、録音は一時的に停止しますが、CDは再生を続け、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

6 録音終了後ミニディスクを取り出す

"MD Writing(ライティング)"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

本体■(停止)キー、またはリモコン■ STOP(ストップ)キーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

CDRとMDに同時録音する(TWIN REC) CD → CDR MD

CDの全曲を、CD-R/RWとMDに同時に、通常速録音で録音できます。(全曲同時録音)
今聴いている曲だけを、曲の最初からCD-R/RWとMDに同時に、通常速録音で録音できます。(1曲同時録音)
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて" →39

入力切り換えを"CD"にする。CDレコーダー、MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは次の操作でアナログ録音に切り換えたあと、手順1から設定を始めてください。
"録音入力の設定をかえる" →49

SINGLE
DIGITAL

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

1 録音の準備をする

❶ CDR : CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる →40
MD : 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる →44
❷ CDプレーヤーに録音元ディスクを入れる →28
❸ 表示部の"HIGH"(録音スピードが倍速になっている)表示が消灯していることを確認する

- CD-R/RWをCDレコーダーに入れたときに **CD-R IN** インジケーターがしばらくの間点滅していることがあります。**"OPC処理について"** →41
- TWIN REC モードでは倍速録音はできません。
- 表示部に **"HIGH"** と表示されているときは、メニューモードの **"O.T.E. Speed ?"**を選び、**"<Norm>"**を選んで**SET**キーを押すと、**"HIGH"** 表示が消灯します。 →66

2 MDの録音モードを選ぶ

❶ MENUキーを押す
❷ MULTI CONTROLキーで"MD Rec Mode ?"を選んでSETキーを押す
❸ MULTI CONTROLキーで録音したいモードを選び、SETキーを押す

"Stereo"または"MONO"を選択したときは手順3へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

- MDの録音モードを変更しないときは手順3に進んでください。

押すたびに文字表示部が切り換わります。
① **Stereo .... ステレオ録音モード**
② **LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード**
③ **LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード**
④ **MONO .... モノラル録音モード**

❹ MULTI CONTROLキーを押してMDスタンプ機能(→48)の"On"または"Off"を選び、SETキーを押す

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、**"Stereo"** または **"MONO"** で録音してください。 →48

押すたびに文字表示部が切り換わります。
On ... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
Off .. 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

- 設定が終了すると **"Complete"** と表示されます。

3 CDの再生状態を確認する

全曲録音するとき	１曲録音するとき
再生中のときは停止させる	**録音したい曲を再生する** CD ▶/II ● 曲の途中で**TWIN REC**キーを押しても、その曲の初めから録音が始まります。

4 録音を始める

❶ MENUキーを押す

❷ MULTI CONTROLキーで"O.T.E. Mode ?"を選んでSETキーを押す

❸ MULTI CONTROLキーで"Twin Rec"を選んでSETキーを押すと同時録音が始まります

SET

リモコンで操作するときは TWIN RECキーを押します。

録音元のディスクにSCMS(→39)によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合：
CDRのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。
MDのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

押すたびに文字表示部が切り換わります。

① **CD→CDR**
② **CD→MD**
③ **Twin Rec**

● MDとCD-R/RWそれぞれに録音可能な残り時間がないと、**"Disc Full"**と表示され、録音しません。
● **CD**再生が停止すると、録音動作も自動的に停止します。
● 再生するディスクによっては**SCMS**(→39)により、デジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →49

"CDR Writing"表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

5 録音終了後ミニディスクを取り出す

"MD Writing"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

録音を途中でやめるには

本体■(停止)キー、またはリモコン■ STOPキーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

● **"CDR Writing"**表示中にMDを取り出すと、**"Twin Writing"**表示になります。

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

→106

応用編

曲順を並べ替えて同時録音する
(プログラム再生(PGM)+ TWIN REC) CD → CDR MD

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをCD-R/RWとMDに同時に録音することができます。(倍速録音はできません)
ファイナライズ処理済みのCD-R/RWから録音することもできますが、ディスクによってはデジタル録音できないことがあります。"デジタル録音とSCMSについて"→39

入力切り換えを"CD"にする。CDレコーダー、MDレコーダーは、必ず停止状態にしてください。

録音をする前に

デジタル録音できない場合やアナログ録音するときは次の操作でアナログ録音に切り換えたあと、手順❶から設定を始めてください。
"録音入力の設定をかえる" →49

現在設定されている状態が表示されます。
"DIGITAL"点灯 .... デジタル録音
"DIGITAL"消灯 .... アナログ録音

1 録音の準備をする

❶ CDR : CDレコーダーに録音可能なCD-R/RWを入れる →40
MD : 録音用MDをミニディスク挿入口に入れる →44
❷ CDプレーヤーに録音元ディスクを入れる →28
❸ 表示部の"HIGH"(録音スピードが倍速になっている)表示が消灯していることを確認する

- CD-R/RW を CD レコーダーに入れたときに **CD-R IN** インジケーターがしばらくの間点滅していることがあります。
  "OPC 処理について" →41
- TWIN REC モードでは倍速録音はできません。
- 表示部に **"HIGH"** と表示されているときは、メニューモードの **"O.T.E. Speed ?"**を選び、**"<Norm>"**を選んで**SET**キーを押すと、**"HIGH"** 表示が消灯します。 →66

2 MDの録音モードを選ぶ

❶ MENUキーを押す
❷ MULTI CONTROLキーで"MD Rec Mode ?"を選んでSETキーを押す
❸ MULTI CONTROLキーで録音したいモードを選び、SETキーを押す

"Stereo"または"MONO"を選択したときは手順❸へ
"LP2"または"LP4"を選択したときは手順❹へ

- MDの録音モードを変更しないときは手順❸に進んでください。

押すたびに文字表示部が切り換わります。
① **Stereo .... ステレオ録音モード**
② **LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード**
③ **LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード**
④ **MONO .... モノラル録音モード**

- 長時間録音モードで録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器でも再生するときは、**"Stereo"** または **"MONO"** で録音してください。 →48

❹ MULTI CONTROLキーを押してMDスタンプ機能(→48)の"On"または"Off"を選び、SETキーを押す

押すたびに文字表示部が切り換わります。
On ... 録音した曲に"LP : "というタイトルを自動的に入力する
Off .. 録音した曲に"LP : "というタイトルを入力しない

- 設定が終了すると **"Complete"** と表示されます。

3 CDの再生状態を確認する

再生中のときは停止させる

4 CDの曲順をプログラムする

"曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順2～3で録音する曲をプログラムをする →53

5 録音を始める

1. **MENUキーを押す**
2. **MULTI CONTROLキーで"O.T.E. Mode ?"を選んでSETキーを押す**
3. **MULTI CONTROLキーで"Twin Rec"を選んでSETキーを押すと同時録音が始まります**

押すたびに文字表示部が切り換わります。

① CD→CDR
② CD→MD
③ Twin Rec

- MDとCD-R/RWそれぞれに録音可能な残り時間がないと、"Disc Full"と表示され、録音しません。
- CD再生が停止すると、録音動作も自動的に停止します。
- 再生するディスクによっては、SCMS(→39)により、デジタル録音できない場合があります。その場合はアナログ録音に切り換えて録音してください。 →49

リモコンで操作するときはTWIN RECキーを押します。

録音元のディスクにSCMS(→39)によりデジタル録音が禁止されている曲が含まれている場合:
CDRのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。ただし、再生する1曲目で"SCMS"と表示された場合は、全曲録音しません。
MDのデジタル録音は、その曲で"SCMS"と表示され、録音を一時的に停止しますが、再生は継続され、デジタル録音できる曲になると再び録音を開始します。

"CDR Writing"表示中は、情報をCD-R/RWに書き込んでいることを示します。録音中、または表示中には振動や衝撃を加えないでください。
録音中、または表示中に電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電が発生した場合、ディスクのデータは破壊されそのディスクは使用できなくなります。

6 録音終了後ミニディスクを取り出す

"MD Writing"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

- "CDR Writing"表示中にMDを取り出すと、"Twin Writing"表示になります。

録音を途中でやめるには

本体■(停止)キー、またはリモコン■ STOPキーを押します。
(録音、再生ともに停止します。)

録音したCD-R/RWをファイナライズするには

→106

応用編

MDの編集機能

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。再生専用のミニディスクは編集できません。

MDはディスクからメモリーに読み込まれた情報を元に動作します。取り出し操作をしたときに、情報をディスクに書き込みます。タイトル入力後、および編集後は必ずミニディスクを取り出して下さい。

MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認ください。 →121

ミニディスクや曲にタイトルをつける →84

ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする (TITLE COPY) →89

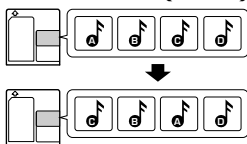
タイトルメモに文字を入力する (TITLE MEMO) →91

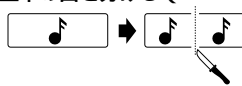
英数字に加えてカタカナの入力も可能です。ディスプレイに表示される文字の中から順に選んでいくだけの簡単な操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性がありますので、他のMDレコーダー(プレーヤー)にそのミニディスクをセットしたときも表示されます。

(タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の制限があります)

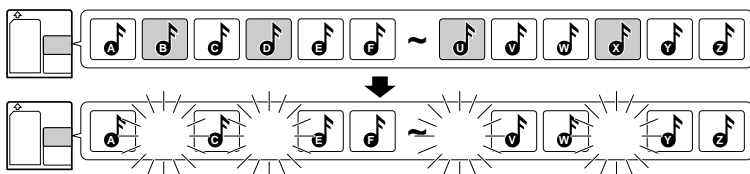
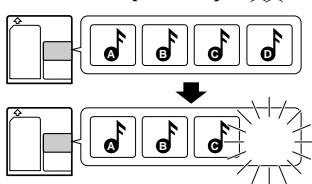
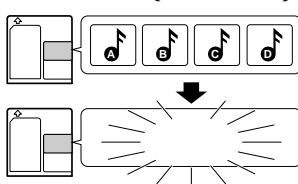
曲順の入れ替え

曲順をまとめて入れ替える(QUICK MOVE) →92

曲順を1曲ずつ入れ替える(MOVE) →94

曲の分割と結合

再生中の曲を分ける(DIVIDE) →96

再生中の曲をつなぐ(COMBINE) →98

曲の消去

曲をまとめて消す(QUICK ERASE) →100

1曲ずつ消す(ERASE) →102

MD内の曲を全て消す(ALL ERASE) →103

編集した内容を取り消す(EDIT CANCEL)

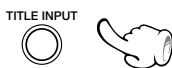
→104

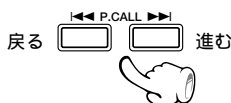
ミニディスクや曲にタイトルをつける(リモコンのみ)

ミニディスクや曲に名前(タイトル)をつけておくと、再生中にタイトルが表示されます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。

入力切り換えを"MD"にする。 →32

1 タイトル入力状態にする

❶ **タイトルを入力するMDをセットする**

❷ **TITLE INPUTキーを押す**

❸ **編集するタイトルを選ぶ**

❹ **確定する**

途中でやめるときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。

Title
Input

|◀◀、▶▶| キーを押すと切り換わります。

① **Disc・・・・・.(ディスクタイトル)*1**
② **001, 002 ・・・・(トラックタイトル)*2**
③ **All Erase・・・・(ディスクとトラックタイトルの全消去)**
④ **[1], [2], [3] ・・・(タイトルメモ)*3**

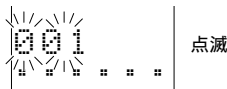
*1 停止中に手順1-❷を行うと、ディスクタイトルから表示が始まります。

*2 |◀◀,▶▶|キーを押すたびに**"001"**、**"002"**･･･とトラックタイトルが順番に表示され、全トラックの表示が終わると③、④と続きます。再生中に手順1-❷を行うと、演奏中のトラックから表示が始まります。

*3 |◀◀,▶▶|キーを押すたびに選ばれたタイトルメモの数字が点滅し、次に①、②と続きます。

ディスクタイトルのとき：

Discを選びます。

トラックタイトルのとき：

目的のトラックNo.を選びます。
(数字キーでも選べます。)

● タイトルをつけていないときは、**"••••••"**と表示されます。

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(CLEAR/DELETE)をご利用ください。

→85 →86

途中でやめる場合はもう一度TITLE INPUTキーを押します。

2 タイトルを入力する

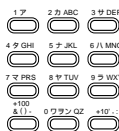
数字キーで文字を選ぶとき（文字入力モード）

Aa、12、ｱｧ いずれかの表示になっていないときは数字キーのいずれかを押すと文字入力モードになります。

タイトルを入力する場合

❶ 文字グループを選ぶ

❷ 文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押すと文字がかわります。

（例：2カABC を押したとき **A→B→C→a→b→c** と変わります。）

- 間違えたときは、**CLEAR/DELETE**キーを押します。

❸ 文字を確定する

❹ 手順❶〜❸を繰り返す

タイトルを変更、消去する場合

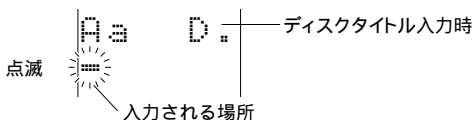
❶ カーソルを目的の（変更する）文字に合わせる

戻る ◀◀ TUNING ▶▶ 進む

❷ 文字を削除する

❸ タイトルを入力する場合の❶〜❹を行う

文字の選び方には"文字入力キーモード"と"スキップキーモード"の2通りの方法があります。

文字入力モード画面

PGM／CHARAC.キーを数回押して、下記の文字グループを選びます。 →88

Aaグループ
A〜z、記号とタイトルメモ([1]、[2]、[3])
12グループ
0〜9 と記号
ｱｧグループ
アイウエオ…ガギグゲゴ…と記号

- ◀◀、▶▶ キーで、入力場所（カーソル）を左右に移動できます。
- **TIME/SPACE**キーで、1文字分の空白を入力することができます。

カーソルが移動、次の文字の入力待ち

- 文字を選んでいるとき他の数字キーや▶▶ キー、**PGM/CHARAC.** キーなどを押したときも確定されます。

- 文字を削除（手順❷）しないで文字の挿入だけをしたいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

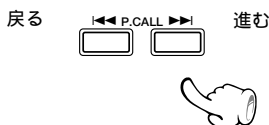
応用編

次ページにつづく

途中でやめる場合はもう一度TITLE INPUTキーを押します。

⏮、⏭キーで文字を選ぶとき（スキップキーモード）

Aa、12、アァ いずれかの表示になっているときは⏮または⏭キーを押すとスキップキーモードになります。

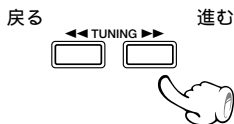
タイトルを入力する場合

❶ 文字グループを選ぶ

❷ 文字を選ぶ

❸ 文字を確定する

❹ 手順❶〜❸を繰り返す

タイトルを変更、消去する場合

❶ カーソルを目的の（変更する）文字に合わせる

❷ 文字を削除する

❸ タイトルを入力する場合の❶〜❹を行う

文字の選び方には"文字入力キーモード"と"スキップキーモード"の2通りの方法があります。

スキップキーモード画面

PGM／CHARAC.キーを数回押して、下記の文字グループを選びます。 →88

アルファベットの大文字グループ
- **A〜Zと スペース（1文字分の空白）**

アルファベットの小文字グループ
- **a〜z と スペース**

数字、記号グループ
- **0〜9 と記号**

カタカナグループ
- **アイウエオ...ガギグゲゴ...**

タイトルグループ
- **タイトルメモ（[123]）、タイトルコピー（ディスクタイトル、トラックタイトル）**

● 表示がスクロールして、（同じグループ内の）すべての文字を選ぶことができます。

カーソルが移動、次の文字の入力待ち

● TIME/SPACEキーで、1文字分の空白を入力することができます。

● 文字を削除（手順❷）しないで文字の挿入だけをしたいときは、挿入したい場所の直後の文字にカーソルを合わせます。

途中でやめる場合はもう一度TITLE INPUTキーを押します。

3 タイトルの編集を実行する

❶ タイトルを書き込む

ENTER

Title Store

- 必要があれば手順1-❸〜3-❶を繰り返し、別のタイトル入力を続けます

Disc Summer

入力したタイトルがスクロールする

❷ 終了する

TITLE INPUT

4 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 →104

MD IN

情報を書き込み中 ➡ ミニディスクを排出

"MD Writing"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

タイトルを全て消す

❶ TITLE INPUTキーを押す

TITLE INPUT

❷ "All Erase"を選ぶ

戻る ◀◀ P.CALL ▶▶ 進む

SET

◀◀、▶▶ キーを押すと切り換わります。

- ① **Disc...................... (ディスクタイトル)**
- ② **001, 002 .... (トラックタイトル)**
- ③ **All Erase.............. (ディスクとトラックタイトルの全消去)**
- ④ **[1], [2], [3] .... (タイトルメモ)**

❸ ENTERキーを押す

ENTER

❹ 終了する

TITLE INPUT

キー機能について

◀◀または▶▶キー:

カーソルの位置を移動します。

CLEAR / DELETEキー:

カーソルを合わせた文字が消去され、それ以降の文字が1文字づつ前に詰められます。続けて押す(または押したままにして繰り返し消していく)と、簡単にタイトルを消すことができます。

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、並びに各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの数字キーで文字を選ぶとき（文字入力モード）

キー ＼ グループ	Aa	12	ｱｧ
1ア	スペース[1] [2] [3]	1	アイウエオァィゥェォ
2カABC	ABCabc	2	カキクケコ
3サDEF	DEFdef	3	サシスセソ
4タGHI	GHIghi	4	タチツテトッ
5ナJKL	JKLjkl	5	ナニヌネノ
6ハMNO	MNOmno	6	ハヒフヘホ
7マPRS	PRSprs	7	マミムメモ
8ヤTUV	TUVtuv	8	ヤユヨャュョ
9ラWXY	WXYwxy	9	ラリルレロ
0ワQZ	QZqz	0	゛゜ ワヲン
+10’，：	’，：?!；．”_｀＄スペース		
+100&()－	&()－/＋＊＝＜＞＃％@		

● 「゛」「゜」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。
● 英字の大文字と小文字が表示される順番は入力する前の状態によって入れ替わります。

リモコンの⏮、⏭キーで文字を選ぶとき（スキップキーモード）

英字の大文字グループ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ スペース
英字の小文字グループ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz スペース
数字、記号グループ	0123456789 スペース! ”# ＄ ％&’ ()＊＋，－．/ ：；＜＝＞｀?@ スペース _
カタカナグループ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン スペース ーァィゥェォッャュョヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ スペース ー
タイトルメモ/ タイトルコピーグループ	[1] [2] [3] [Disc] ([001]・・・)

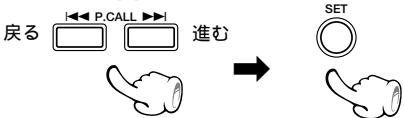
タイトルをコピーまたはメモして、他のディスクや曲につける

（TITLE COPY）（TITLE MEMO）（リモコンのみ）

**文字入力の手間を省くため、何回も使うようなディスクタイトル(ミニディスク名)、トラックタイトル(曲名)、入力文字をタイトルメモ("[1]"～"[3]")として保存し、別のディスクや、トラックにコピーして使うことができます。
3つまでのタイトルや入力文字を保存することができます。**

入力切り換えを"MD"にする →32

ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)

例：ディスクの7曲目に録音／登録している"A. Songs"というトラックタイトルをメモ番号[1]に保存する

1 保存先のタイトルメモ番号を選ぶ

❶ **TITLE INPUTキーを押す**

❷ **保存先のタイトルメモ番号([1]～[3])の中から番号[1]を選び、確定する**

途中でやめる場合はもう一度TITLE INPUTキーを押します。

① **Disc**...................... **(ディスクタイトル)**
② **001, 002** .... **(トラックタイトル)**
③ **All Erase**............... **(ディスクとトラックタイトルの全消去)**
④ **[1], [2], [3]** .... **(タイトルメモ)**

2 タイトルグループを選ぶ

❶ **"スキップキーモード"にする** →86

Aa、12、アァ いずれかの表示になっているときは◀◀または▶▶キーを押すと**スキップキーモード**になります。

❷ **タイトルグループを選ぶ**

スキップキーモード画面

PGM/CHARAC.キーを数回押して、下記の文字グループの中から"タイトルグループ"を選びます。 →88

アルファベットの大文字グループ
- **A～Zと スペース(1文字分の空白)**

アルファベットの小文字グループ
- **a～z と スペース**

数字、記号グループ
- **0～9 と記号**

カタカナグループ
- **アイウエオ...ガギグゲゴ...**

タイトルグループ
- **タイトルメモ ([123])、タイトルコピー(ディスクタイトル、トラックタイトル)**

タイトルグループを選んだとき

● すでにタイトルメモにタイトルが記録されている場合は、タイトルがスクロールしたあとにこのような表示になります。

次ページにつづく

途中でやめる場合はもう一度TITLE INPUTキーを押します。

3 コピーする曲を選ぶ

7曲め**"A.Songs"**を選ぶ

点滅

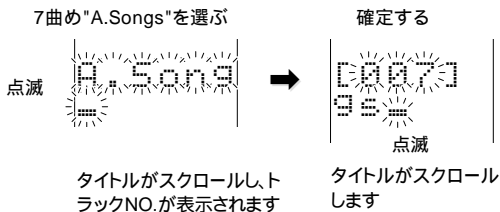
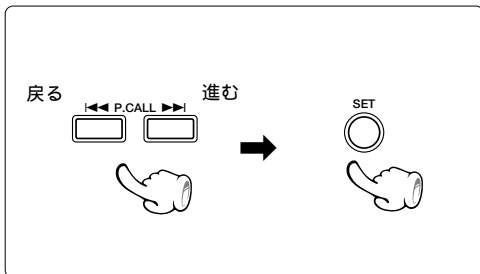
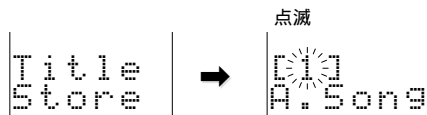
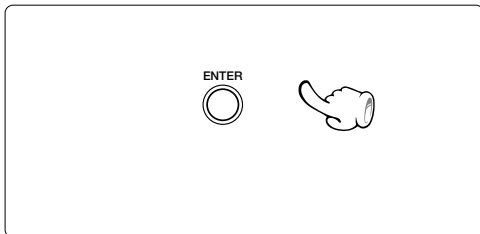
A.Song

タイトルがスクロールし、トラックNO.が表示されます

確定する

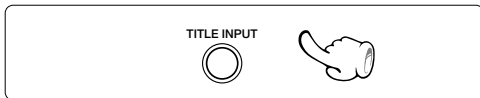
[007]
gs

点滅

タイトルがスクロールします

4 タイトルメモに保存する

- 手順❶で設定したタイトルメモ番号[1]に**"A.Songs"**が登録されたことになります。

必要があれば手順❶-❷〜❸をくり返し、別のタイトルメモにコピーを続けます

タイトルメモを変更するには →91

5 編集を終了する

タイトルメモの内容を他のディスク名、タイトル名にコピーする

"ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)"の手順で、選ぶ項目(コピー先とコピー元)を反対にすることでこの編集ができます。
下記の手順の操作のみ|◀◀、▶▶|で選ぶ項目を変更してください。

手順❶-❷　保存先としてタイトルメモ番号の代わりにディスクタイトルやトラックタイトルを選ぶ
手順❸　コピーするタイトルメモ番号を("[123]")から選ぶ

タイトルメモ自体を編集することができます。

- **"ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)"**の手順❸の後に、手順❸を繰り返し、同じタイトルメモに追加のコピーを続けることができます。
- **"ディスクまたはトラックタイトルをタイトルメモにコピーする(TITLE COPY)"**の手順❸の後に、**PGM/CHARAC.**キーを押してから**"ディスクや曲にタイトルをつける"**の手順❷で文字を入力する手順でコピーしたタイトルを編集することができます。

入力切り換えを"MD"にする →32

タイトルメモに文字を入力する(TITLE MEMO)

例:タイトルメモ番号[2]に"TREASURE"という文字を保存する

保存先のタイトルメモ番号を選ぶ

途中でやめる場合はもう一度TITLE INPUTキーを押します。

❶ TITLE INPUTキーを押す

❷ 保存先のタイトルメモ番号([1]〜[3])の中から[2]を選び、確定する

① **Disc** .... **(ディスクタイトル)**
② **001, 002** .... **(トラックタイトル)**
③ **All Erase** .... **(ディスクとトラックタイトルの全消去)**
④ **[1], [2], [3]** .... **(タイトルメモ)**

❸ "ディスクや曲にタイトルをつける"の手順❷〜❷-❹を行ない"TREASURE"という文字を入力する →85 →86

文字入力モード時

点滅

❹ タイトルメモに保存する

点滅

スクロールします

- 手順❷で設定したタイトルメモ番号[2]に**"TREASURE"**が登録されたことになります。
- 必要があれば手順❷〜❹を繰り返し、別のタイトルメモに文字入力を続けます。

❺ 編集を終了する

タイトルメモを変更するには

タイトルメモを変更するときは、手順❸で**"ディスクや曲にタイトルをつける"**の**"タイトルを変更、消去する場合"**を行なうことで変更することができます。 →85 →86

曲順をまとめて入れ替える（QUICK MOVE）

並べたい順に曲(トラック番号)を選び出し、ひとまとめにして曲順を入れ替えることができます。入れ替えが終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調節されます。

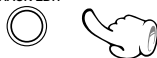
途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

入力切り換えを"MD"にする。停止中に操作してください。

1 "Q.MOVE"を選ぶ

❶ **TRACK EDITキーを押す**

❷ **"Q.Move ?"を選ぶ**

❸ **確定する**

● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

⏮, ⏭ キーを押すたびに切り換わります。

① **Q.Move ?**
② **Q.Erase ?**
③ **Cancel ?**

2 並べ替えたい順に曲を選ぶ

❶ **曲(トラック番号)を選ぶ**

❷ **確定する**

❸ **手順❶と❷を繰り返す**

❹ **並べ替えたい曲の選択を終了する**

選ばれた次のトラック番号
（最終トラックを選ぶと、１つ前のトラック番号が表示されます。）

● 32曲まで選ぶことができます。
● ◀◀, ▶▶ キーで、選んだ曲順の確認ができます。
● **CLEAR/DELETE** キーを押すと、最後に選んだ曲(トラック番号)を取り消すことができます。

応用編

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

3 曲順を並べ替える

❶ 移動先を選ぶ

❷ 確定する

❸ 曲順を並べ替える

トラックNo.5とNo.6の間に移動する例

交互に表示します。

実行後の表示

Edit Now ：編集中
Complete ：編集完了
Can't Edit ：編集不可能

4 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 →104

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

"MD Writing"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲順をまとめて入れ替えるイメージ

曲順を1曲ずつ入れ替える（MOVE）

再生中の曲を、お好みの位置へ移動（挿入）することができます。入れ替えが終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。
MOVEを繰り返し行うと、全曲をお好みの曲順に並べ替えることができます。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 "Move"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す

● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

❷ "Move ?"を選ぶ

|◀◀、▶▶| キーを押すたびに切り換わります。

- ① **Divide ?**
- ② **Combine ?**
- ③ **Erase ?**
- ④ **Move ?**

❸ 確定する

2 移動先を選ぶ

❶ 曲（トラック番号）を選ぶ

トラック番号が戻る

トラック番号が進む

トラックNo.6とNo.7の間に移動する例

● 上図の場合、移動曲のトラック番号は次のようになります。
NO.1〜NO.5のいずれかをNo.6とNo.7の間に移動する場合は **"006"**にかわります。
NO.8以降のいずれかをNo.6とNo.7の間に移動する場合は**"007"**にかわります。

❷ 確定する

交互に表示します。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDIT（トラック エディット）キーを押します。

3 曲の移動をする

実行後の表示

Edit Now（エディット ナウ）	**：編集中**
Complete（コンプリート）	**：編集完了**
Can't Edit（キャント エディット）	**：編集不可能**

4 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。

→104

情報を書き込み中　　　ミニディスク排出

"MD Writing"（ライティング）表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲順を1曲ずつ入れ替えるイメージ

1 2 3 4 5 6 7 22

移動する曲を選ぶ

移動先を選ぶ

曲順の入れ替えが完了する（トラック番号が調整される）

応用編

曲を分ける（DIVIDE）

曲の途中に曲番号（トラック番号）を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に調整されます。

プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 分割したい曲を再生する

2 希望の所で TRACK EDITキーを押す

❶ TRACK EDITキーを押す

❷ "Divide ?"を選ぶ

❸ 確定する

- 曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割できないことがあります。
- 再生中に編集を始めると、一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

Divide ? 点滅

一時停止中のトラック番号

002< >003 ? 点滅

分割でできる新しいトラック番号

プレビューをしないときは、一度ENTERキーを押してから手順4に進みます。

3 プレビューをするとき

❶ プレビューの実行

❷ 分割の微調整をする

❸ 分割点を確定する

Prev. 0 -s

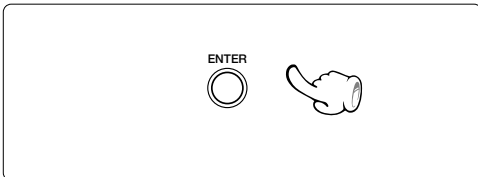
- 分割点から約3秒が繰り返し再生されます。

Prev. -12 -s

- 分割点の微調整は、**TRACK EDIT**キーを押した所を0として、60ms（6/100秒）単位で－31～＋31ステップ（約4秒の範囲）で可能です。

交互に表示します。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

4 曲の分割を実行する

手順1～4を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

実行後の表示

Edit Now　：**編集中**
Complete　：**編集完了**
Can't Edit　：**編集不可能**

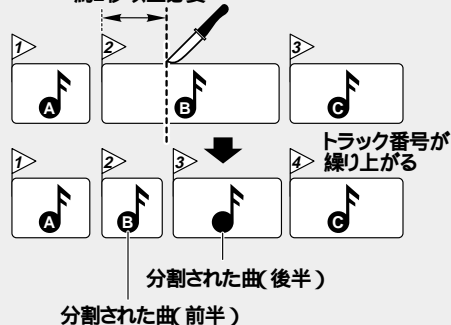
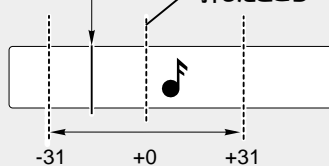
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 分割して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。

5 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 →104

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

"MD Writing"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲を分割するイメージ

プレビュー再生のイメージ

曲をつなぐ（COMBINE）

二つの曲をつないで一つの曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。曲をつなぎ終ると、全てのトラック番号が通し番号に自動的に調整されます。

異なる録音モードの二つの曲はつなぐことができません。（例：" LP4 " ＋ " LP2 " 等）

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

再生中または一時停止中に操作してください。

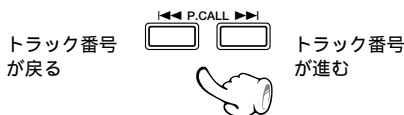
1 つなぎたい曲を再生する

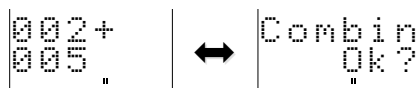
2 "Combine"を選ぶ

● 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

再生中の曲と、次の曲をつなぐ場合は、ENTERキーを押してから手順 4へ進みます。

3 他の曲をつなぎたい場合

2曲目と5曲目をつなぐ場合

点滅

交互に表示します。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

4 曲と曲の結合を実行する

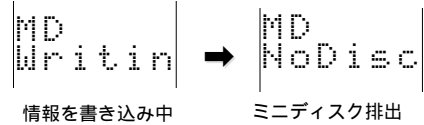
実行後の表示

Edit Now　：編集中
Complete　：編集完了
Can't Edit　：編集不可能

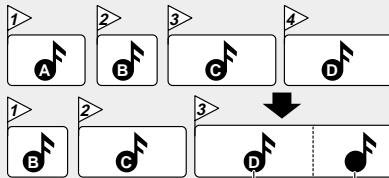
- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。
- 結合して新しくできた曲のはじめで一時停止になります。

5 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 →104

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

"MD Writing"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ

4曲目と1曲目をつなぐ場合

曲をまとめて消す（QUICK ERASE）

停止中に、選んだ曲 または全曲消すことができます。曲を消すと元に戻せない場合がありますので、十分注意してください。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

入力切り換えを"MD"にする。停止中に操作してください。

1 "Q.Erase"を選ぶ

- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

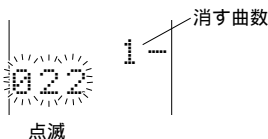
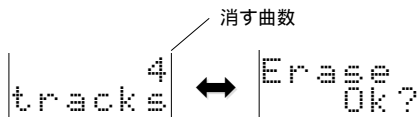
2 消したい曲を選ぶ

❶ 消したい曲を選ぶ

❷ 確定する

❸ 手順❶❷を繰り返す

❹ 選択を終了する

消したい曲番を表示させる

- 32曲まで選ぶことができます。
- ◀◀、▶▶キーで、選んだ曲の確認ができます。
- **CLEAR/DELETE**キーを押すと、最後に選んだ曲が、消去選択群の中から削除できます。

交互に表示します。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

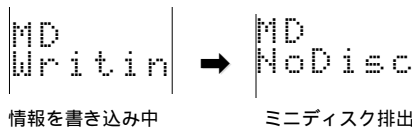
3 消去を実行する

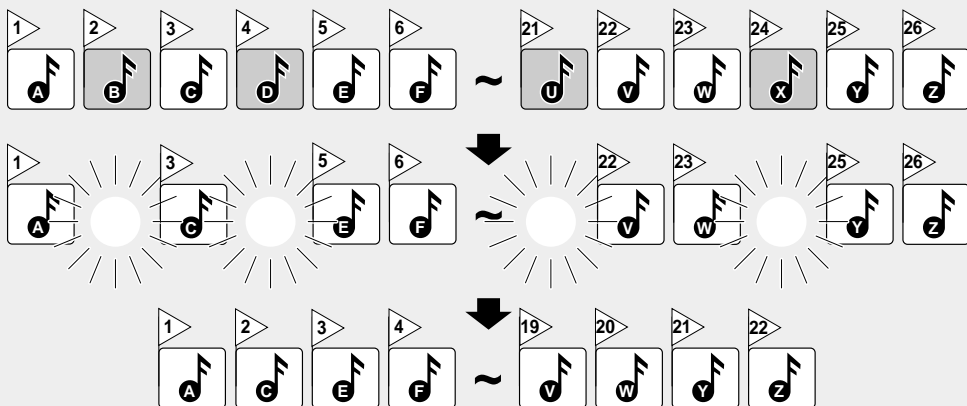
実行後の表示
Edit Now　：編集中
Complete　：編集完了
Can't Edit　：編集不可能

4 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 →104

MD IN

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

"MD Writing"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

曲をまとめて消すイメージ

1曲ずつ消す（ERASE）

選んだ1曲のみを消すことができます。消し終ると、その曲以降のトラック番号は調整されます。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

再生中または一時停止中に操作してください。

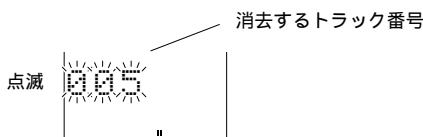
1 消したい曲を再生する

2 "Erase"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す

❷ "Erase ?"を選ぶ

❸ 確定する

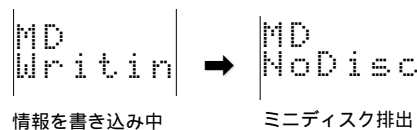
- 再生中に編集を始めると一時停止になります。
- 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

3 消去を実行する

❶ 消去の確認

❷ 消去を実行する

- 再生中の曲が消去されます。

4 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 →104

"MD Writing"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

MD内の曲を全て消す（ALL ERASE）

停止中に全曲消すことができます。ミニディスク全体を消すと元に戻せませんので、十分注意してください。

途中でやめる場合はもう一度TRACK EDITキーを押します。

入力切り換えを"MD"にする。停止中に操作してください。

1 "Q.Erase"を選ぶ

❶ TRACK EDITキーを押す

❷ "Q.Erase ?"を選ぶ

❸ 確定する

● 途中で20秒間放置すると編集は中止されます。

点滅

点滅

2 SETキーを押す

"All ?"表示中に押します

交互に表示します。

3 消去を実行する

実行後の表示

Edit Now	**：編集中**
Complete	**：編集完了**
Can't Edit	**：編集不可能**

4 ミニディスクを取り出す

ミニディスクの編集終了後でも、現在までの編集を取り消し、ディスクを入れた状態まで戻すことができます。ディスクを取り出す前に行ってください。 →104

情報を書き込み中　　ミニディスク排出

"MD Writing"表示中は、録音や編集に関する情報をミニディスクに書き込み中のため、振動や衝撃を加えないでください。

編集した内容を取り消す（EDIT CANCEL）

停止中に次の操作を行うと、ディスクを入れてから現在までに行った編集を取り消すことができます。万一、編集後にミニディスクを取り出したり、他の録音をしたりすると、取り消すことができなくなります。

入力切り換えを"MD"にする。停止中に操作してください。

|◀◀、▶▶| キーを押すたびに切り換わります。

① **Q.Move ?**
② **Q.Erase ?**
③ **Cancel ?**

- **"Cancel X"**が表示された場合は、それまで行われた編集を取り消すことができません。
  "Cancel"できない場合としては、
  編集後MDを取り出した後の場合、録音操作した場合、**"UTOC Error"**（→124）が表示された後に編集した場合、録音後**"MD Writing"**を行なわずに編集を行なった場合などです。
- タイトルメモを取り消すことはできません。

CD-R/RWのファイナライズ(FINALIZE)

録音されたCD-R/RWを本機のCDプレーヤーでも再生できるようにします。
ファイナライズ処理をすると、録音したCD-Rは他のCDプレーヤー*で、またCD-RWはCD-RW対応機器で再生できるようになります。CD-RWは一般のCDプレーヤーでは再生できません。

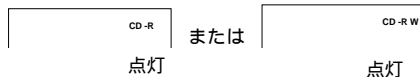
* ....ピックアップ等の違いにより、一部のCDプレーヤーや、DVDプレーヤーで再生できない場合があります。

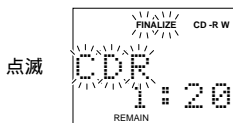
ファイナライズ処理後、CD-Rは追加録音(記録)が一切できなくなりますのでご注意ください。
CD-RWも同様に追加録音(記録)ができなくなりますが、アンファイナライズ処理をする(→107)ことでファイナライズ処理をする前の状態に戻すことができます。

入力切り換えを"CDR"にする。停止中に操作してください。→30

❶ **ファイナライズ処理をするディスクをCDレコーダーにセットする** →30

- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- **"CD-R"**または**"CD-RW"**インジケーターが点灯します。**"CD"**または**"FINALIZED CD-RW"**インジケーターが点灯した場合は、ファイナライズ処理済みのディスクです。

❷ **FINALIZEキーを押して"Finalize Ok ?"を選ぶ**

キーを押すたびに切り換わります。
→ Finalize Ok ?
→ 通常表示

❸ **CDR RECキーを押すとファイナライズ処理が始まります**

"FINALIZE"が点滅します

- **FINALIZE**インジケーターが点滅します。
- ファイナライズ処理中は他の操作をしないでください。
- ファイナライズ処理完了するまでの時間が表示されます。
- ファイナライズ処理が完了すると**"Complete"**と表示され、**"FINALIZED"**インジケータが点灯します。

ファイナライズ中は電源プラグを抜かないでください

ファイナライズ中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

応用編

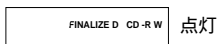
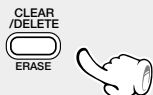
CD-RWのアンファイナライズ(UNFINALIZE)

ファイナライズ処理済のCD-RWをファイナライズ処理する前に戻し、再び追加録音および書き換えができるようにします。CD-Rをアンファイナライズ処理することはできません。

他のCDレコーダーやパソコンなどで、テキスト情報(ディスクや曲のタイトルなど)を記録したディスクを本機でアンファイナライズ処理すると、これらの情報はディスクから消去され、元に戻すことはできなくなりますのでご注意ください。

入力切り換えを"CDR"にする。停止中に操作してください。→30

❶ **アンファイナライズするCD-RWをCDレコーダーにセットする** →30

- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- **"FINALIZED CD-RW"**インジケーターが点灯します。
  "CD-RW"インジケーターが点灯した場合は、ファイナライズされていないディスクです。

❷ **ERASEキーを押して"Unfinalize Set ?"を選ぶ(リモコンのみ)**

キーを押すたびに切り換わります。

→ **Unfinalize set ?**
→ **通常表示**

"UNFINALIZE"が点滅します

- 中止するときは**ERASE**キーまたは■ **STOP**キーを押します。

❸ **SETキーを押す**

❹ **ENTERキーを押すとアンファイナライズ処理が始まります**

- アンファイナライズ処理中は他の操作をしないでください。
- アンファイナライズ処理完了するまでの時間が表示されます。
- アンファイナライズ処理が完了すると**"Complete"**と表示されます。

アンファイナライズ中は電源プラグを抜かないでください

アンファイナライズ中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

応用編

主にパソコンやDAO(ディスク・アット・ワンス)方式*に対応したレコーダーで録音されたCD-R/RWは、そのディスクがDAO方式で録音されている場合、本機ではアンファイナライズ処理できません。

＊ディスク・アット・ワンス方式(DAO方式) .... 録音(記録)方法の一種で、リードイン、データ、リードアウトの順に、一気に全ての情報の書き込みを実行します。データの追記(ディスクの未使用領域にデータを追記記録すること)はできません。

CD-RWの録音消去

録音可能(ファイナライズ処理されていない、またはアンファイナライズ処理された)なCD-RWの録音(記録)内容を消去することができます。
消去方法には次の2つの方法があります。

- **CD-RWに録音した最後の曲だけを消去する。**
- **CD-RWに録音した全ての曲を消去する。**

一度消去した曲や情報の内容は元に戻すことはできません。

入力切り換えを"CDR"にする。停止中に操作してください。 →30

最後の曲を消去する

例: 15曲録音したディスクの最後の曲(15曲目)を消去する

❶ 録音可能なCD-RWをCDレコーダーにセットする →6 →7

- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- **"CD-RW"**インジケーターが点灯します。
  "FINALIZED CD-RW"インジケーターが点灯した場合は、ファイナライズされているディスクです。

点灯

❷ ERASE(イレース)キーを"Erase(イレース) 15 ?"が表示されるまで繰り返し押す

キーを押すたびに切り換わります。

Erase 15 ?
Erase All ?
通常表示

"ERASE"が点滅します

点滅

- 中止するときは**ERASE(イレース)**キーまたは**■ STOP(ストップ)**キーを押します。

❸ SET(セット)キーを押す

点滅

❹ ENTER(エンター)キーを押すと消去処理が始まります

- 消去処理完了するまでの時間が表示されます。
- 消去処理中は他の操作をしないでください。
- 消去処理が完了すると**"Complete(コンプリート)"**と表示されます。

点滅

消去を繰り返すには

手順❷〜❹を繰り返す。

- 手順❷では**"Erase XX"**を選びます。**"XX"**はそのディスクの最後の曲のトラック番号を示します。

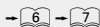
消去処理中は電源プラグを抜かないでください

消去処理中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

応用編

入力切り換えを"CDR"にする。停止中に操作してください。 →30

すべての曲を消去する

例：15曲録音（記録）したディスクの全ての曲を消去する

❶ 録音可能なCD-RWをCDレコーダーにセットする →6 →7

- ディスクにキズおよびほこりがないことを確認してください。
- **"CD-RW"**インジケーターが点灯します。
  "FINALIZED CD-RW"インジケーターが点灯した場合は、ファイナライズされているディスクです。

点灯

❷ ERASE（イレース）キーを"Erase All（イレース オール） ?"が表示されるまで繰り返し押す

キーを押すたびに切り換わります。

→ **Erase 15 ?**
Erase All ?
通常表示

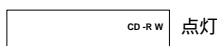
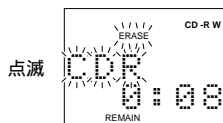
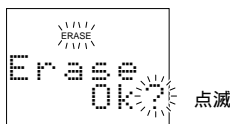
"ERASE"が点滅します

点滅

❸ SET（セット）キーを押す

- 中止するときは**ERASE（イレース）**キーまたは■ **STOP（ストップ）**キーを押します。

点滅

❹ ENTER（エンター）キーを押すと消去処理が始まります

点滅
- 消去処理完了するまでの時間が表示されます。
- 消去処理中は他の操作をしないでください。
- 消去処理が完了すると**"Complete（コンプリート）"**と表示されます。
- スキップ登録回数や解除の書き込み回数もリセットされます。

消去処理中は電源プラグを抜かないでください

消去処理中に停電などで電源が切れたり、電源プラグを抜いた場合、データが破損し、再生することができなくなる可能性があります。

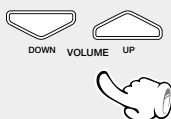
外部機器ソースを聴く

アナログまたは光デジタル出力を備えているカセットデッキ、MDレコーダーあるいはCS/BSチューナーなどを本機に接続して聴くことができます。

"他の機器(市販品)との接続" →18 **を参照して、あらかじめ接続を済ませてください。**

アナログ機器を聴くとき

❶ **AUX/D-AUXキーを"AUX"が表示されるまで繰り返し押す**

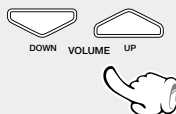
❷ **外部アナログ機器の演奏を始める**

❸ **音量を調整する**

デジタル機器を聴くとき

❶ **AUX/D-AUXキーを"D-AUX"が表示されるまで繰り返し押す**

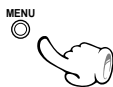
- **D-AUX**を選んだとき、**"Unlock(アンロック)"**と表示された場合は、**"メッセージ表示の一覧"**をご覧ください。 →122

❷ **外部デジタル機器の演奏を始める**

❸ **音量を調整する**

外部アナログ機器の入力レベルを調整する(外部デジタル機器は調整できません)

外部アナログ機器の音量が、本機のCDやMDの音量の大きさと比べて異なる場合など、同じ音量で聴こえるように調整します。

❶ **MENU(メニュー)キーを押す**

❷ **MULTI(マルチ) CONTROL(コントロール)キーで"AUX Input(インプット) ?"を選び、SET(セット)キーを押す**

❸ **MULTI(マルチ) CONTROL(コントロール)キーを使ってお好みのレベルに調整する**

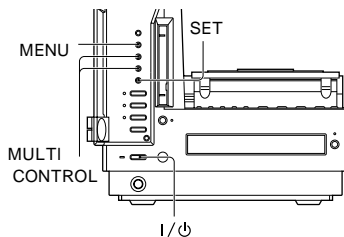
- -5～+2の範囲で調整ができます。

❹ **SET(セット)キーを押して確定する**

入力レベルを調整すると、AUX入力端子に接続された外部アナログ機器からの録音の入力レベルも変化します。 →43 →47

応用編

タイマーを使う

CD(CD-R/RW)、MDの再生、ラジオ受信、あるいはそれらの録音を、指定した時間帯に自動的に行うことができます。設定後1回だけ働くO.T.T.タイマー、おやすみ前に設定すると自動的に電源がオフ(スタンバイ)になるSLEEP(スリープ)タイマー、設定を保存して毎日働く二つのPROG.(プログラム)タイマーがあります。

"時刻合わせ"を済ませてから、タイマーを設定してください。 →24

簡単にタイマーを設定する(O.T.T.タイマー)

開始時刻をセットするだけの簡単な操作で、タイマー再生、受信ができます。電源をオフ(スタンバイ)にする前に、最後に選ばれていたソースが再生、受信されます。タイマー再生開始から1時間が経過すると、電源が自動的にオフ(スタンバイ)になります。O.T.T.タイマーは設定の後1回だけ働きます。(設定内容は解除しても設定変更されるまで記憶しています。)

❶ **聴きたいソースを選び、音量を設定する** →26

❷ **MENU(メニュー)キーを押す**

❸ **MULTI(マルチ) CONTROL(コントロール)キーを回して"Timer(タイマー) Set(セット) ?"を選びSET(セット)キーを押す**

❹ **MULTI(マルチ) CONTROL(コントロール)キーを押して、"O.T.T."を選びSET(セット)キーを押す**

❺ **MULTI(マルチ) CONTROL(コントロール)キーを押してオン時刻をセットする**

時刻が進む

時刻が戻る

❻ **SET(セット)キーを押す**

❼ **設定を予約する**
リモコンのTIMER(タイマー)キーを繰り返し押して、"O.T.T."を点灯させます。

- PROG.1またはPROG.2タイマーが先に予約されているとき、O.T.T.タイマーを設定すると、PROG.1またはPROG.2タイマーの予約は取り消されます。

❽ **I/⏻キーで電源オフ(スタンバイ)状態にする**
(STANDBY(スタンバイ)/TIMER(タイマー)インジケーターが緑色に点灯します)

O.T.T.タイマーで再生されている間は、プログラムタイマーは働きません。

- CDはCDプレーヤー、CDレコーダーのどちらでも再生できます。

❸ **タイマーの選択**

点滅

❺ **オン時刻設定**

点滅

- オン時刻は、5分単位で設定できます。

解除するには

電源をオンにして、TIMER(タイマー)キーを繰り返し押して"O.T.T."を消す。(OFFにする)

- **O.T.T.タイマーが動作中にTIMER(タイマー)キーを繰り返し押して"O.T.T."を消すと通常再生になります。**

タイマー設定が済んだら、電源がオフ(スタンバイ)になっていることを必ず確認してください。

- タイマー設定後、電源がオフ(スタンバイ)中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、**STANDBY(スタンバイ)/TIMER(タイマー)**インジケーターが緑色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。 →24

プログラムタイマー再生(AI タイマー再生)、タイマー録音

2系統(PROG.1 、PROG.2)の24時間タイマー(毎回働きます)です。
PROG. 1、PROG. 2 には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

- タイマー予約は、PROG. 1とPROG. 2の2系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1とPROG. 2の動作する時間は重ならないように、1分以上の間隔をあけて予約してください。

"時刻合わせ"を済ませてから、タイマーを設定してください。 →24

1 タイマー録音をするときはあらかじめ準備しておく

● 録音をする

録音の準備をする

CD-R/RW →40 →41 **手順1〜3**
MD →44 →45 **手順1〜3**

- タイマー録音は、ラジオ放送(**TUNER**)、外部デジタル/アナログ機器(**D-AUX**/**AUX**)からの録音ができます。

2 聴きたい、または録音したいソースを選び、音量を設定する

● CD(CD-R/RW)を聴く

ディスクをセットする(通常の再生のみ)

→28 →30

- CDプレーヤー部、CDレコーダー部のどちらでも再生できます。CDプレーヤー部でCD-R/RWを聴くときは、ディスクをファイナライズ処理してください。

● ラジオ放送を聴く、または録音する

放送局をプリセットしておく

→34 →35 →37

● MDを聴く

MDをセットする(通常の再生のみ)

→32

● 外部入力機器を再生、または録音する

AUX入力端子またはデジタル入力端子に接続された機器の再生、または録音の場合は"他の機器との接続"を参照し接続を済ませて、外部機器のタイマー設定をする。

→18 →110

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。

3 タイマー予約モードにする

❶ MENUキーを押す

❷ MULTI CONTROLキーを押して"Timer Set ?"を選んでSETキーを押す

❸ MULTI CONTROLキーを押して、"PROG.1"を選んでSETキーを押す

PROG.1で午前10:00から午前11:00までラジオ放送を受信するときの例

❷ タイマーの選択

点滅

❸ PROG.1を選択

点滅

- 間違えたときはMENUキーを押して解除し、手順❷からやり直してください。
- すでに予約されているときは、新しい設定内容にかわります。

4 オン時刻を設定する

❶ MULTI CONTROL（マルチ コントロール）キーを押してオン時刻を設定する

❷ SET（セット）キーを押す

SET

❸ ❶、❷の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力する

❶ オン"時"

点滅

● 間違えたときはMENU（メニュー）キーを押して解除し、手順❷からやり直してください。

5 オフ時刻を設定する

❶ MULTI CONTROL（マルチ コントロール）キーを押してオフ時刻を設定する

時刻が進む

時刻が戻る

❷ SET（セット）キーを押す

❸ ❶、❷の手順を行ない"時"を入力した後、同じ手順で"分"を入力する

❶ オフ"時"

点滅

● 間違えたときはMENU（メニュー）キーを押して解除し、手順❷からやり直してください。

6 希望の予約を設定する

タイマー再生、AIタイマー再生をするとき

❶ MULTI CONTROL（マルチ コントロール）キーを押してタイマーモードを選ぶ

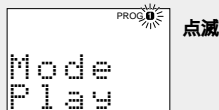
① "Play"または"AI Play"を選ぶ

Play……電源オフ時の音量のタイマー再生

AI Play……音量が0〜20までだんだん音が大きくなるタイマー再生

点滅

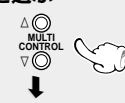
SET

② SET（セット）キーを押す

次ページに続く

タイマー録音をするとき

❶ MULTI CONTROL（マルチ コントロール）キーを押して録音モードを選ぶ

① "Rec"を選ぶ
- Play
- Rec
- AI Play

② SET（セット）キーを押す

❷ 入力ソースを選ぶ

① 何を録音するか選ぶ
- TUNER（チューナー）（ラジオ放送）
- AUX（外部アナログ機器）
- D-AUX（外部デジタル機器）

② SET（セット）キーを押す

● D-AUXを選んだとき、"Unlock（アンロック）"と表示された場合は、"メッセージ表示の一覧"をご覧ください。→122

"D-AUX"または"AUX"を選択したときは手順❹へ

次ページに続く

❷ 入力ソースを選ぶ

① 何を聴くか選ぶ

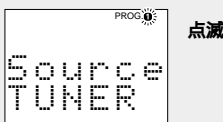
- TUNER .... ラジオ放送
- CD .... CD、ファイナライズ処理 .... 済みCD-R/RW
- CDR .... CD、CD-R/RW
- MD .... MD
- AUX .... (外部アナログ機器)
- D-AUX .... (外部デジタル機器)

点滅

② SETキーを押す

❸ 放送局を選ぶ(TUNERを選択したとき)

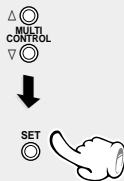
① プリセットチャンネルを選ぶ

点滅

② SETキーを押す

❸ 放送局を選ぶ(TUNERを選択したとき)

① プリセットチャンネルを選ぶ

② SETキーを押す

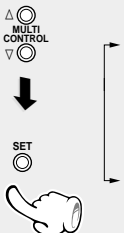
❹ 録音する機器を選ぶ

①

- CDR .... CDレコーダー
- MD ...... MDレコーダー

② SETキーを押す

"CDR"を選択したときは手順❼へ

❺ 録音モードを選ぶ(MDを選択したとき)

①

- Stereo ...... ステレオ録音モード
- LP2 .... ステレオ2倍長時間録音モード
- LP4 .... ステレオ4倍長時間録音モード
- MONO ...... モノラル録音モード

② SETキーを押す

● MD録音モードで**"LP2"**、**"LP4"**を選んだときのMDスタンプ機能は、現在設定されている状態で機能します。 →48

7 プログラムをオンオフする

❶ TIMERキーを押して予約したいタイマーの表示を点灯させる

❷ I/⏻キーで電源オフ(スタンバイ)状態にする

(STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。)

TIMERキーを押すたびに切り換わります。

- O.T.T.
- PROG.1
- PROG.2
- PROG.1,2
- 消灯(OFF)

以上でプログラムタイマー予約は終了です。
PROG. 2にプログラムタイマー予約をする場合も同様の手順でおこなってください。

電源がオフになっていることを確認してください。

タイマーの実行を解除するには（リモコンのみ）

TIMERキーを繰り返し押して"PROG. 1"または"PROG. 2"の表示を消灯させる。

消灯

● 予約内容は記憶しています。

設定した内容のタイマーを再びセットする（リモコンのみ）

TIMERキーを繰り返し押して"PROG. 1"または"PROG. 2"を選ぶ。また"PROG. 1"、"PROG. 2"両方をセットするときは"PROG. 1 2"を点灯させる。

点灯

● ディスクの準備、音量の調整をしておきます。

- タイマー録音のときは、タイマーで電源がオンになると、MUTEが自動的に働きます。 →27
- 予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。
- 電源をオフ（スタンバイ）状態にしたときSTANDBY/TIMERインジケーターが緑色の点滅をしているときは、タイマーは実行されません。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。 →24
- タイマー設定後、電源がオフ（スタンバイ）中に、停電があったり電源プラグをコンセントから抜き差ししたときは、STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅します。この場合はもう一度時刻合わせをやり直してください。 →24

音楽を聴きながら眠る（SLEEPタイマー）（リモコンのみ）

何分後に電源をオフ（スタンバイ）するか設定します。

CD(CD-R/RW)、MD再生中またはラジオ受信中などにSLEEPキーを押す

- SLEEPキーを1回押すと残り時間の確認ができます。
- 設定したタイマー時間が過ぎると、自動的に電源がオフ（スタンバイ）になります。

本システムは、スリープタイマーの動作中は各機器の表示部の明るさが自動的に暗くなるように設定されています。（オートディマー機能）

- 1回押すごとに10分ずつ増加していきます。最大約90分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除

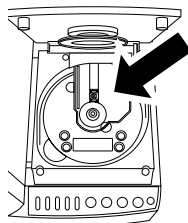
解除するには

電源をオフ（スタンバイ）にするか、またはSLEEPキーを解除になるまで繰り返し押す

メンテナンス

セットのお手入れ
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について
接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

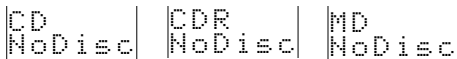
レンズのお手入れ
レンズの汚れは、再生ができなくなるなど、故障の原因となります。市販のカメラ用レンズブロワーなどを使って、レンズをクリーニングしてください。機器を傷めることがありますので、レンズには手を触れないでください。また、市販のレンズクリーナー、ディスククリーナーなどは使用しないでください。

参考

結露にご注意
本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。
このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意
本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. **電源をオンにします。**
2. **CDプレーヤー、CDレコーダー、MDレコーダーから全てディスクを取り出します。**
   - **CD ▶/II**、**CD-R ▶/II**、**MD ▶/II**を押したとき、表示部が図の表示になったことを確かめてください。

CD	CDR	MD
NoDisc	NoDisc	NoDisc

3. **電源をオフにします。**
   - 電源がオフ（スタンバイ）になるまでは、電源プラグはコンセントから抜かないでください。

輸送するときは、フロントドアを取り外してください。 →3

MD-Clipデータについて
MD-Clipデータ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

メモリーバックアップ
電源プラグをコンセントから抜いても、次の項目の設定した内容は記憶しています。

アンプ部
- 電源の状態（オンまたはスタンバイ）
- バランスの設定
- トーンコントロール値（BASS、MID、TREBLE）
- 入力切り換え
- AUX Inputのレベル値
- Rec Gainの設定

チューナー部
- オート、マニュアル選局の設定
- タイマーの設定内容*
- オートパワーセーブの設定

＊ SLEEPタイマーは解除になります。

MDレコーダー部のメモリーバックアップについて
電源オフ（スタンバイ）あるいは、電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は、約1日間です。長時間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報（ミニディスク取り出し時に記録される）がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。
録音、編集後には、録音、編集の情報を記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

著作権について
あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話　(03) 5353-0336（代表）
FAX.（03）5353-0337

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

故障かな?と思ったら...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、MENU(メニュー)キーを押しながら、差し込み直す。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● **"接続のしかた"**をみて正しく接続し直す。 →17 →18 ● 音量を上げる。 ● **MUTE**(ミュート)をオフ(解除)にする。 →27 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く
"STANDBY(スタンバイ)/TIMER(タイマー)"の表示が赤く点滅し,音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。電源を切ってスピーカーコードを接続し直す。 →17
"STANDBY(スタンバイ)/TIMER(タイマー)"の表示が緑色に点滅する。	● 時刻合わせをやり直す。 →24
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 →27
スピーカーの片側から音が出ない。	● **"接続のしかた"**をみて正しく接続し直す。 →17 ● 左右のバランスを調整する。 →27
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 →24
タイマーが作動しない。	● **"時刻合わせ"**をみて現在時刻を合わせる。 →24 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を正しく設定する。 →111 →113 ● リモコンの**TIMER**(タイマー)キーで実行指定する。 →114 →115

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 →16 ● 放送バンドを合わせる。 →34 →37 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 →34 →37
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、⏮◀◀、▶▶⏭キーを押しても受信できない。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 →35 →37

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。 →23 ● 操作範囲内で操作する。 →23

知識編

CDプレーヤー部

症　状	処　置
ディスクを入れても再生できない。	● レーベル面を上にして、正しく入れる。 ● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →8 ● **"結露にご注意"**を参照し、露を蒸発させる。 →116 ● CD-R/RWはファイナライズ処理をする。 →106
音声が出ない。	● **CD ►/II**キーを押す。 ● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →8
音とびがする。	● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →8 ● 振動のない場所に設置する。

CDレコーダー部

症　状	処　置
ディスクを入れても再生できない。	● レーベル面を上にして、正しく入れる。 ● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →8 ● **"結露にご注意"**を参照し、露を蒸発させる。 →116 ● 録音済みディスクを入れる。
音声が出ない	● **CD-R ►/II**キーを押す。 ● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →8
音とびがする	● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →8 ● 振動のない場所に設置する。
音がひずむ	● AUX入力レベル(**AUX Input**、**Rec Gain**)を調整する。 →43
録音できない	● **"ディスク取扱上のご注意"**を参照し、ディスクを清掃する。 →8 ● 録音可能なディスクに入れかえる。 →6 →7 ● ディスクをアンファイナライズする。(CD-RWのみ) →107 ● AUX入力レベル(**AUX Input**、**Rec Gain**)を調整する。 →43 ● 入力切り換えを録音したいソースにする。 →41 ● **"SCMS"**と表示されたときは、デジタル録音できません。 →39
トラック番号が繰り上がらない(外部アナログ録音のとき)。または正しく繰り上がらない。	● AUX入力レベル(**AUX Input**、**Rec Gain**)を調整する。 →43 ● 無音検出レベル(**Cut Lv.**)を調整する。 →50 →51 ●トラックマーク(**T.Mark**)を**"Manual"**に設定する。 →50 ● デジタル録音可能なときは、デジタル録音する。
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。
まだ録音可能時間があるのに"TNO Full"と表示される。	● 100曲以上(トラック番号100以上)は録音できません。 (トラック番号99未満でも録音できないことがあります。) このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、**" 0:00"**になります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がCD-R/RW全体の記録時間(74分)と一致しない。	● 4秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	● 録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
CD-R INインジケーターの点滅表示する時間が異常に長い。	● 未使用のCD-R/RWや、アンファイナライズしたCD-RWを入れた場合、通常よりも長い間点滅表示します。

MDレコーダー部(MD規格上の症状)

症　状	原　因
まだ録音可能時間があるのに"Disc Full"と表示される。	● 256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。)このとき、表示部の全体の残り時間表示は、**"0:00"**になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● ミニディスク全体の残り時間が12秒*1未満の場合は、表示部の全体の残り時間表示は、**" 0:00"**になります。消去された曲の合計時間が12秒*1を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ● 編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モード*2の曲同士はつなげません。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分、80分)と一致しない。	● 2秒間*3を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	● 録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
MD INインジケーターの点滅表示する時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間点滅表示します。
タイトルが1792文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

MDレコーダー部(その他の症状)

症　状	処　置
MD ►/❚❚キーを押しても音が出ない。	● 録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れて、**MD ►/❚❚**キーを押す。
録音ができない。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 → 9 ● AUX入力レベル(**AUX Input**、**Rec Gain**)を調整する。 → 47 ● 入力切り換えを録音したいソースにする。 → 45 ● **"SCMS"**と表示されたときは、デジタル録音できません。 → 39
音がひずむ。	● AUX入力レベル(**AUX Input**、**Rec Gain**)を調整する。 → 47
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。
トラック番号が繰り上がらない(外部アナログ録音のとき)。または正しく繰り上がらない。	● AUX入力レベル(**AUX Input**、**Rec Gain**)を調整する。 → 47 ● 無音検出レベル(**Cut Lv.**)を調整する。 → 50 → 51 ●トラックマーク(**T.Mark**)を**"Manual"**に設定する。 → 50 ● デジタル録音可能なときは、デジタル録音する。

＊1　録音モードがSTEREOモードの場合(LP2/MONOモードの場合):24秒(LP)　LP4モードの場合:48秒
＊2　STEREO(ステレオ録音モード)、LP2(ステレオ2倍長時間録音モード)、LP4(ステレオ4倍長時間録音モード)、MONO(モノラル録音モード)
＊3　録音モードがSTEREOモードの場合(LP2/MONOモードの場合):4秒(LP)　LP4モードの場合:8秒

メッセージ表示の一覧

共通

ディスプレイ表示	意　味	処　置
SCMS	● **SCMS**によりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	● アナログ録音に切りかえて録音する。 →49
Not Audio (ノット オーディオ)	● 本機に対応していないディスク、または入力信号である。	● 故障ではありません。
Reading... (リーディング)	● TOC情報*やその他のディスク情報を読んでいる。	● 故障ではありません。
Writing... (ライティング)	● 処理、設定などの各種の情報を書き込んでいる。	● 故障ではありません。
Ok? の点滅	● **"処理を実行してもよろしいですか?"**という確認のメッセージ。	● **ENTER** (エンター) キーを押すと、処理が実行されます。
Unlock (アンロック)	● 外部デジタル機器が正しく接続されていない。	● **"他の機器(市販品)との接続"**をみて正しく接続する。 →18
Wait (ウェイト) XXmin. (ミニッツ)	● CD倍速録音をはじめてから、74分以内に同じ曲を録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめるか、通常速録音で録音する。
Sorry Buffer Over (ソーリー バッファ オーバー)	● 74分以内にCDから200曲以上を倍速録音しようとしている。	● 表示されている時間が経過してから倍速録音をはじめるか、通常速録音で録音する。
CD ReWritable Disc (リライタブル ディスク)	● CD-RWから倍速録音しようとしている。	● 通常速録音で録音してください。

CDプレーヤー関連

ディスプレイ表示	意　味	処　置
No Disc (ノー ディスク)	● ディスクが入っていない。 ● ファイナライズしていないディスクを入れている。	● ディスクを入れる。 ● ファイナライズしたディスクを入れる。
--:--	● TOC*情報が読めない。	● ディスクを入れかえる。

CDレコーダー関連

ディスプレイ表示	意　味	処　置
No Disc (ノー ディスク)	● ディスクが入っていない。	● ディスクを入れる。
Disc Full (ディスク フル)	● 録音可能な残りエリアがない。	● 録音可能なディスクに入れかえる。

＊　**TOC .... すべてのCD-R/RWには音声信号以外にTOC (トック) (Table of Contents) (テーブル オブ コンテンツ) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。**

CD レコーダー関連(つづき)

ディスプレイ表示	意 味	処 置
Pro. Disc	● 音楽用CD-R/RWではない。	● 音楽用CD-R/RWに入れかえる。 →6
PCA Full	● OPC処理をするエリアPCA*1 がディスクに残っていないため、追加録音はできない。	● 録音可能なディスクに入れかえる。
PMA Full	● TOC情報*2を一時的にディスクに書き込むエリアPMA*3 が残っていないため、追加録音はできない。	● 録音可能なディスクに入れかえる。(CD-RWの場合は、ファイナライズとアンファイナライズを行うと、追加録音できる場合があります。)
Skip Full	● スキップ登録を書き込む上限回数を越えようとしている。	● 書き込みは22回以上はできません。
TNO Full	● 100曲目を録音しようとしている。	● 一枚のディスクには100曲以上録音できません。
Ready	● 録音、録音一時停止状態に移行中である。またはファイナライズ、アンファイナライズ、消去の準備中である。	● 故障ではありません。
Finalized Disc	● ファイナライズされているディスクにファイナライズ、または録音しようとしている。	● ファイナライズしたCD-Rは、録音できません。CD-RWを録音するときは、アンファイナライズしてから録音する。**"CD-RWのアンファイナライズ"** →107
Unfinalized Disc	● ファイナライズしていないディスクでリピート再生しようとしている。	● ファイナライズしていないディスクではリピート再生できません。ディスクをファイナライズしてから、リピート再生を行ってください。**"CD-R/RW のファイナライズ "** →106
Play Only	● 再生専用のディスクである。	●録音用CD-R/RWと入れかえる。
Rec Only	● CD-Rを消去しようとしている。	● CD-Rは消去操作できません。
DAO Disc	● 他の機器でDAO方式*4で録音したディスクをアンファイナライズ処理しようとしている。	● このディスクは本機ではアンファイナライズ処理できません。

次ページにつづく

＊1 OPCとPCA .... ファイナライズ処理されていないディスクをCD レコーダーに入れると、本機はそのディスクに最適なレーザー照射強度と時間を計算するために試験的にディスクの特定エリアに書き込みを行います。この処理をOPC(Optimum Power Control)といい、書き込みを行うエリアをPCA(Power Calibration Area)といいます。

＊2 TOC .... すべてのCD-R/RWには音声信号以外にTOC (Table of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

＊3 PMA .... 未ファイナライズのCD-R/RWはTOC 情報を一時的にディスクの特定エリアに書き込みます。この書き込みを行うエリアをPMA(Program Memory Area)といいます。録音、スキップ設定を行うたびに情報を追加書き込みを行います。

＊4 DAO .... DAO(Disc At Once)。録音(記録)方法の一種で、リードイン、データ、リードアウトの順に、一気に全ての情報の書き込みを実行します。データの追記(ディスクの未使用領域にデータを追記記録すること)はできません。

CDレコーダー部（つづき）

ディスプレイ表示	意　味	処　置
Rec Error	● 録音中に不具合が発生した。 ディスクのキズ、汚れや特性などにより録音ができない。	● 録音可能なディスクに入れかえる。 ディスクを取り出して、入れなおす。 ディスクを清掃する。
Mecha Error	● 機械的な不具合が発生した。 ディスクのキズ、汚れや特性などにより再生、または録音ができない。	● ディスクを取り出して、入れなおす。 ディスクを清掃する。 ディスクを入れかえる。
Disc Error	● ディスクのキズ、汚れや特性などにより再生、または録音ができない。	● ディスクを取り出して、入れなおす。 ディスクを清掃する。 ディスクを入れかえる。
Blank Disc	● 何も録音されていないCD-R/RWである。	● 再生するときは、録音済みのCD-R/RWに入れかえる。
OPC	● OPC*処理をしている。 →41	● 故障ではありません。
OPC Error	● OPC*処理中に不具合が発生した。 ディスクのキズ、汚れや特性などにより録音ができない。	● ディスクを取り出して、入れなおす。 ディスクを清掃する。 録音可能なディスクに入れかえる。
XXX◄◄◄	● 24文字以上のタイトルが入力されている。	● 表示できるタイトル、テキストは23文字までです。

＊　OPCとPCA ……. ファイナライズ処理されていないディスクをCD レコーダーに入れると、本機はそのディスクに最適なレーザー照射強度と時間を計算するために試験的にディスクの特定エリアに書き込みを行います。この処理をOPC(Optimum Power Control)といい、書き込みを行うエリアをPCA(Power Calibration Area)といいます。

MDレコーダー部

ディスプレイ表示	意　味	処　置
No Disc	● ミニディスクが入っていない。	● ミニディスクを入れる。
Disc Full	● 録音可能なエリアがない。 ● 256曲目を録音しようとしている。	● 録音可能なミニディスクに入れかえる。 ● 一枚のディスクには256曲以上録音できません。
Blank Disc	● 何も録音されていないミニディスクである。	● 再生するときは、録音済みのミニディスクに入れかえる。
No Tracks	● 曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	● そのまま録音して問題ありません。
Rec Error	● 録音途中で不具合が発生した。	● 他のミニディスクに入れかえる。
Can't Edit	● 長さが短すぎる曲など、制限を越えて編集しようとしている。	● 故障ではありません。
UTOC Error	● UTOC*2の内容が異常である。	● **"ALL ERASE"**を行う。それができないときは、ミニディスクを入れかえる。→103
Protected	● ミニディスクが**"録音禁止"**されている。	● **"録音可能"**にする。→9
Play Only	● 再生専用のミニディスクである。	● 録音用ミニディスクと入れかえる。

＊ **UTOC .... TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。**

保証とアフターサービス （必ずお読みください）

保証書　（別途添付）

製品には保証書が（別途）添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットへお問い合わせください。
（お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- **お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害**
- **録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害**

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットが修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

- 技術料：　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：　修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話（　　　　）　　　-

本体部 (RMD-L7CDR)

[アンプ部]

実用最大出力 .... 20 W + 20 W（EIAJ 6 Ω）
スーパーウーファープリアウト................. 1.7 V / 620 Ω
入力感度/インピーダンス
　AUX .... 180 mV / 47 kΩ
出力レベル/インピーダンス
　AUX OUT .... 180 mV / 100 Ω
周波数特性
　AUX .... 15 Hz～70 kHz（0 dB, -3dB）

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲............................. 76 MHz～90 MHz
アンテナインピーダンス ....75 Ω
AMチューナー部
受信周波数範囲......................... 531 kHz～1,629 kHz

[MDレコーダー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 .... ATRAC、ATRAC 3
D/Aコンバーター ....1 ビット
ワウ・フラッター (EIAJ) .... 測定限界以下

[CDプレーヤー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
D/Aコンバーター .... 1 ビット
サンプリング周波数 .... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (EIAJ) .... 20 Hz～20,000 Hz
ワウ・フラッター (EIAJ) .... 測定限界以下

[CDレコーダー部]

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
記録方式 ....非接触光学式
D/Aコンバーター ....1 ビット
サンプリング周波数 .... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (EIAJ) .... 20 Hz～20,000 Hz
ワウ・フラッター (EIAJ)
.... 測定限界以下

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) ...... 45 W
最大外形寸法 ....幅　243 mm
高さ　284 mm
奥行　310 mm
質量（重量）.......................................6.3 kg(正味)

スピーカー部（LS-L7）

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカー構成
　ウーファー .... 40 × 140 mm 長円コーン型
　ツイーター .... 19 mm ドーム型
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力 .... 20 W
最大外形寸法 .... 幅　97 mm
高さ　282 mm
奥行　292 mm
質量（重量） .... 2.2 kg（1本）

1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い（水が凍るような）場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- **商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。**

カスタマーサポートセンター東京	**電話（03）3477-5335**	**〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9**
カスタマーサポートセンター大阪	**電話（06）6394-8085**	**〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22**

- **アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにご相談ください。**